

令和7年度

岩倉市の教育

豊かな人間性を求めて



岩倉市教育委員会

小さなまちから大きな夢を

岩倉市民憲章

悠久の時を刻みながら流れる五条川。
多くの文化遺産。
私たちは、この自然と伝統に恵まれた岩倉を愛し、
調和のとれたまちづくりをめざして
市民憲章を定めます。

広げよう 愛 ふれ合い みんなの和

(家族仲間の和を願って)

人と人とのつながり、地域社会のつながり
(コミュニケーション) を大切に。

育てよう 心 からだ みんなの健康

(市民一人一人の幸せを願って)

一人一人が、精神的にも肉体的にも、
社会的にも健康で。

高めよう 文化 芸術 みんなの暮らし

(生活の質の向上を願って)

伝統を守りながら新しい文化の想像をはかり、
うるおいのある生活の向上を。

守ろう 自然 環境 みんなの地球

(かけがえのない地球の存続を願って)

世界に目を向けて、大切な命、自然を守り、
地球全体の平和を。

つくろう 人 まち みんなの未来

(豊かな社会の現実を願って)

まちづくりは人づくりともいわれています。そして、
量よりも質が大切です。真に豊かな社会を実現する
ために夢やロマンをもって未来に目を向けよう。

目 次

岩倉市の概要	1
教育方針	
教育大綱・教育振興基本計画	3
教育委員会	
教育委員会制度・教育委員会教育長及び教育委員	7
教育委員会開催回数等・総合教育会議	8
教育行財政	
教育委員会組織図	9
教育費予算	10
学校教育	
学校教育の主要施策	13
教職員数・研究指定校	14
事業概要	15
小中学校の紹介	
岩倉市立小中学校位置図	23
岩倉市立岩倉北小学校	24
岩倉市立岩倉南小学校	26
岩倉市立岩倉東小学校	28
岩倉市立五条川小学校	30
岩倉市立曽野小学校	32
岩倉市立岩倉中学校	34
岩倉市立南部中学校	36
小中学校に関する資料・統計	
小中学校長一覧	39
小中学校の沿革	40
小中学校児童生徒・学級数	54

小中学校児童生徒数の推移	55
小中学校学級数の推移	56
児童生徒の体位の状況	57
日本スポーツ振興センター利用状況	58
岩倉市教育振興基本計画推進委員会委員名簿	59

学校給食センター

学校給食センターの主要施策	61
事業概要	62
学校給食センター運営委員会委員名簿	65
献立作成委員会委員名簿・給食用物資購入選定委員会委員名簿	66

生涯学習

生涯学習の主要施策	67
事業概要	70
生涯学習センター利用状況	77
審議機関・社会教育関係団体・補助団体	80
市指定文化財一覧	82
社会教育施設一覧	83
社会教育委員名簿・文化財保護委員会委員名簿	84
まちづくり文化振興事業審査会委員名簿・青少年問題協議会委員名簿	85
青少年問題協議会専門委員会委員名簿	86

図書館

図書館の主要施策	87
事業概要	88
図書館協議会委員名簿	92

スポーツ

スポーツの主要施策	93
施設概要	93
事業概要	95
岩倉市スポーツ推進委員名簿	99
スポーツ施設利用状況	100

岩倉市の概要

岩倉市の概要

岩倉市は、愛知県の西北部で濃尾平野のほぼ中央部に位置し、平坦で肥沃な土地、温暖な気候に恵まれ、農業を主たる産業として発展してきました。また、名古屋市の近郊で交通アクセスに優れた便利の良さから住宅都市としても発展してきました。

都市として安定成長期を迎えた現在は、コンパクトな市域に利便性の高い都市空間と、うるおいのある農的な自然空間が共存する生活都市として進展を続けています。

本市では、普遍的な将来都市像「健康で明るい緑の文化都市」の実現をめざし、性別や年齢、国籍、文化・習慣など様々な違いを乗り越えて、多様な主体が役割を分かち合いながら協働し、「マルチパートナーシップによる誰もが居場所のある共生社会をめざす」ことを基本理念としたまちづくりを推進しています。

具体的には、基本目標を「健やかでいつまでも安心して暮らせるまち」、「個性が輝き心豊かな人を育むまち」、「利便性が高く魅力的で活力あふれるまち」、「環境にやさしいうるおいたあふれる安全なまち」、「協働と自治による持続可能なまち」と定め、積極的な行政の推進に取り組んでいます。

- ・ 市 制 施 行 昭和 46 年 12 月 1 日
- ・ 市役所所在地 岩倉市栄町一丁目 66 番地
- 経 緯 度
 - 東 経 136 度 52 分 17 秒
 - 北 緯 35 度 16 分 46 秒
- ・ 面 積 10.47km²
- 市 域
 - 東 西 3.9 km 南 北 4.9 km
 - 人 口
 - 47,700 人（令和 7 年 4 月 1 日現在）
 - 男 23,873 人
 - 女 23,827 人
 - 世 帯 数
 - 23,115 世帯
- ・ 市 の 木 くすのき（昭和 47 年 12 月 1 日制定）
- ・ 市 の 花 つ つ じ（昭和 47 年 12 月 1 日制定）
- ・ 市 民 の 花 木 さ く ら（令和 3 年 12 月 1 日制定）
- 予 算 額
 - 一般会計総額 19,920,000 千円
 - （令和 7 年度当初）
 - うち教育費 2,301,424 千円

教 育 方 針

教育大綱・教育振興基本計画

岩倉市では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3に基づき、岩倉市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱として、「岩倉市教育大綱」を策定しました。この計画における「基本理念」・「基本方針」・「基本目標」の部分は、教育基本法第17条第2項に基づき、本市の教育・生涯学習等に関する取組を総合的・計画的に推進する岩倉市教育振興基本計画と同様の内容となっています。

基本理念

本市は、コンパクトな市域の中で多様な市民が暮らしており、地域においても様々な活動が活発に行なわれています。また、市民・地域・団体や学校、行政との距離が物理的にも心理的にも近いということが本市の強みです。

まちづくりの根底をなすのは「人」であり、人づくりの基礎は教育にあります。岩倉市独自の教育プランのスローガン“子どもは未来のまちづくり人”に込めた、社会に自ら参画し、貢献できる若者を育てたいという理念に基づき、子どもたちと地域のつながり、学校・家庭・地域のつながり、人と人との交流を深めながら、ともに学びあい、つながり、響きあえる環境を創出します。

人がまちをつくり まちが人を育む
～学びあい つながり 響きあうまち いわくら～

基本方針1 一人ひとりの学ぶ力を大切にする

自ら学ぼうとする意欲を育てる視点を大切にし、個々が主体的に学ぶ力を高めることを重視して各種の取組を推進します。

基本方針2 豊かな人間性を育む

学校・家庭・地域において、多様な価値観の中で相手を思いやる心や自分を大切にする気持ち等を育てる教育を進めます。また、文化・芸術活動やスポーツ活動、伝統文化の継承活動等を通じた、仲間とのコミュニケーション、感動する心の育みを大切にします。

基本方針3 教育を支えるすべての主体が信頼関係をつくる

子ども、学校、家庭、地域、行政等のすべての主体が、相互に信頼関係を持って、それぞれが役割を果たしながら岩倉市の教育・生涯学習等に取り組みます。

基本方針4 生涯を通じた学びあいを支える

子どもから大人まで、それぞれのライフステージに応じて切れ目なく学びあうことができるような環境づくり、機会づくりを進めます。

基本方針5 自らの学びを地域や社会に役立てる

人と関わるなかで、学んだことを地域社会や他者のために活用し、そしてまた自分自身も「役立ち感」を感じることで喜びや生きがいにつなげていきます。

基本目標 1 「まちづくり人」を育む教育の推進

幼稚園、保育園、認定こども園において、家庭との連携のもとに子どもたちの他者を思いやる心を育てるとともに、きまりを守り、規則正しく生活する習慣を定着させるように努めるなど、心身の健やかな発達を支援します。

また、学校においては、子どもたちの自ら考え行動できる確かな知性、他者を思いやり助け合える心、たくましく健康な体を育む教育を進めます。さらに、このような教育を支える教師の授業技術の向上を図るとともに、家庭や地域に信頼され、子どもたちが安心して学べる教育環境を整備します。

基本目標 2 家庭・地域とともに進める教育の展開

子どもたちの教育において、学校・家庭・地域が一体となって取り組むことができるよう、家庭教育への支援を図るとともに、地域の教育力を学校の教育活動に生かします。

また、学校・家庭・地域の連携を強化し、地域全体で子どもを育てるコミュニティづくりを推進します。

基本目標 3 生涯を通じた学びあいの定着

誰もが学習活動を通じて自らを高め、豊かな心を育むことができるよう、ライフステージに応じた学習機会の充実や環境の整備を図るとともに、きめ細かな学習情報の提供に努めます。あわせて、生涯学習活動を個人だけの活動にとどめず、その過程や成果が社会に還元され、まちづくりに生かされるような仕組みづくりを進めます。

基本目標 4 文化・芸術を育む風土の醸成

文化・芸術活動を通じて市民が心豊かな生活を送ることができるよう、活動環境の整備や、市民が主体的に文化・芸術活動に関わることができる機会の創出を図ります。

また、本市でこれまで取り組んできた音楽文化の特徴を生かし、音楽に親しみ、音楽を楽しむ市民を増やし、生活の中に音楽が根付く「音楽のあるまちづくり」を進めます。

基本目標 5 地域の歴史・文化の次世代への継承

本市の貴重な文化財や歴史遺産の保存と活用に努めるとともに、史跡公園や郷土資料室・展示室等を活用し、市民が文化財等にふれる機会の充実に努めます。

また、市民共通の財産である山車・からくり人形・お囃子や祭り等の地域の伝統文化についても、地域主体による維持・継承活動を支援します。

基本目標 6 豊かなスポーツライフの実現

スポーツをする・見る・支える楽しさが広がり、年齢や性別等、一人ひとりの状況に合わせてスポーツに親しむことができる豊かなスポーツライフの実現をめざします。市民が気軽にスポーツに親しみ、より豊かで充実した生活を送ることができるよう、スポーツ活動に参加する機会の充実と環境の整備を図ります。

基本理念 人がまちをつくり まちが人を育む
～学びあい つながり 響きあうまち いわくら～

基本目標

基本方針1
一人ひとりの学ぶ
力を大切にする

1 「まちづくり人」を
育む教育の推進

基本方針2
豊かな人間性を
育む

2 家庭・地域とともに
進める教育の展開

基本方針3
教育を支えるすべての
主体が信頼関係をつ
くる

3 生涯を通じた学びあ
いの定着

基本方針4
生涯を通じた
学びあいを支える

4 文化・芸術を育む
風土の醸成

基本方針5
自らの学びを地域
や社会に役立てる

5 地域の歴史・文化の
次世代への継承

6 豊かなスポーツライ
フの実現

施策の方向性

1 子育て支援の推進

2 確かな学力の育成

3 豊かな心・たくましい体の育成

4 給食等を通じた食育の推進

5 学校における教育体制の整備

6 安心して学べる環境づくり

1 保護者・家庭の教育力の向上

2 地域ぐるみで子どもを育てる意識の醸成

3 青少年の健全育成活動の展開

1 市民の生涯学習活動を支える環境づくり

2 現代的課題に対応した学習の推進

3 市民の主体的活動の活性化

4 図書館サービスの充実

1 文化・芸術にふれる機会の充実

2 「音楽のあるまちづくり」の推進

3 文化・芸術活動を促進する環境整備

1 岩倉市固有の文化に対する理解促進

2 地域の伝統文化の保存・継承

3 文化財の保存と活用

1 市民主体のスポーツ活動の活性化

2 競技スポーツの振興

3 スポーツ環境の整備

教育大綱

教育振興基本計画

【メモ】

教 育 委 員 会

教育委員会制度

教育委員会は、学校その他の教育機関の管理等、地方公共団体の教育、学術及び文化に関する事務を管理執行する合議制の執行機関です。

教育委員会の制度は、昭和 23 年に制定された教育委員会法によって発足しました。その後、実施の経験に鑑み、より我が国の実情に即するよう、教育の政治的中立と教育行政の安定を確保し、教育行政と一般行政との調和を進め、国、都道府県、市町村一体としての教育行政制度を樹立するために昭和 31 年に制定された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）」によって制度の改正が行われました。平成 20 年の法律改正では、教育委員の数を弾力化し、教育委員への保護者の選任が義務化されました。これにより平成 21 年 10 月 1 日から教育委員を従来の 5 人から 6 人に改めました。また、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」の施行に合わせ、平成 27 年 4 月 1 日より教育委員会の代表者として従来の委員長と教育長を一本化した新教育長を置き、教育行政における責任体制の明確化など、更なる活性化を図りました。

教育委員会教育長及び教育委員

（令和 7 年 4 月 1 日現在）

職 名	氏 名	委員任期
教育長	野木森 広	令 6. 4. 1 就任 令 9. 3. 31 まで （3 期目）
教育長 職務代理者	松本 恵	令 7. 4. 1 就任 令 11. 3. 31 まで （4 期目）
教育委員	押谷 誠	令 4. 4. 1 就任 令 8. 3. 31 まで （2 期目）
教育委員	三須 祐子	令 5. 4. 1 就任 令 9. 3. 31 まで （1 期目）
教育委員	大村 あゆみ	令 6. 4. 1 就任 令 10. 3. 31 まで （1 期目）
教育委員	浅美 裕樹	令 7. 4. 1 就任 令 11. 3. 31 まで （1 期目）

任期：教育長－3 年 教育委員－4 年

教育委員会開催回数等

年度	開催回数	議案件数	審議結果
4 年度	定例 12 回 臨時 2 回	39 件	可決 34 同意 3 否決 2
5 年度	定例 12 回 臨時 2 回	36 件	可決 32 同意 4 否決 0
6 年度	定例 12 回 臨時 2 回	43 件	可決 36 同意 4 否決 3

総合教育会議

総合教育会議は、平成 27 年 4 月 1 日に一部改正された地方教育行政の組織及び運営に関する法律により設置が定められたもので、市長が招集し、市長と教育委員会により構成されるものです。

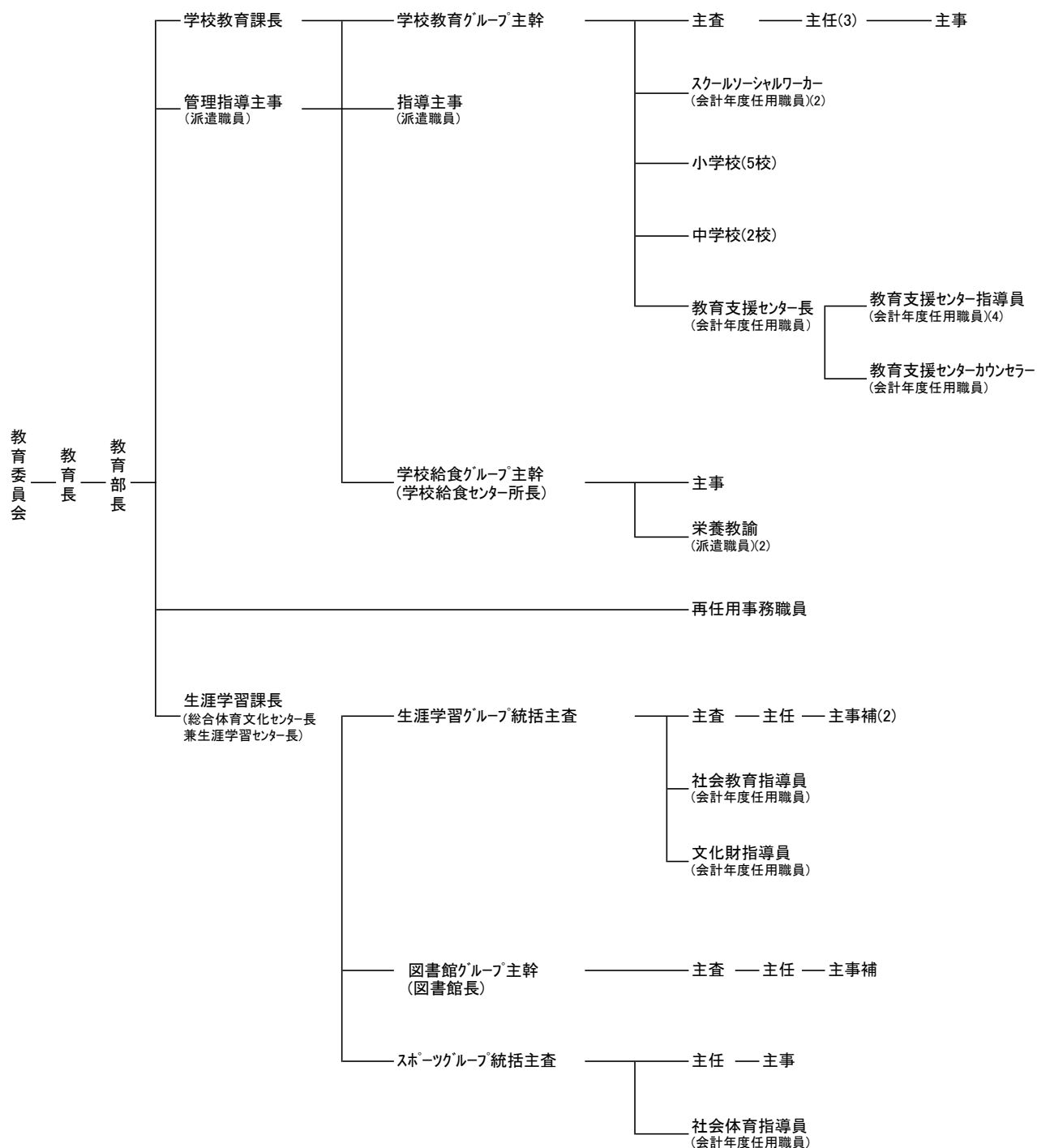
総合教育会議は市長と教育委員会という対等な執行機関同士の協議調整の場であり、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、より一層民意を反映した教育行政の推進を図ることを目的とします。

総合教育会議の主な役割は、教育行政の大綱の策定、教育の条件整備等の重点的に講ずべき施策の協議とされており、本市では平成 27 年 8 月 27 日に初の総合教育会議を開催しました。

年度	開催日	議題
4 年度	第 1 回 令和 4 年 8 月 22 日 第 2 回 令和 4 年 12 月 26 日	・教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価の結果に係る意見交換について ・コミュニティ・スクールについて
5 年度	令和 5 年 12 月 25 日	・部活動の地域移行・地域連携について
6 年度	令和 7 年 3 月 24 日	・部活動の地域移行・地域連携について

教 育 行 財 政

教育委員会組織図(令和7年4月1日現在)



教育費予算

1. 令和7年度一般会計及び教育費当初予算

(単位：千円)

区分 \ 年度	7年度	6年度	増減	対比 %
一般会計	19,920,000	17,650,000	2,270,000	112.9
教育費	2,301,424	1,500,065	801,359	153.4
市予算に対する割合 %	11.6	8.5		

2. 教育費当初予算内訳

(単位：千円)

区分 \ 年度	7年度	6年度	増減	対比 %
1 教育総務費	310,562	281,246	29,316	110.4
(1) 教育委員会費	2,398	2,403	△ 5	99.8
(2) 事務局費	131,181	122,289	8,892	107.3
(3) 教育指導費	176,983	156,554	20,429	113.0
2 小学校費	656,897	252,876	404,021	259.8
(1) 学校管理費	515,653	121,012	394,641	426.1
(2) 教育振興費	141,243	131,863	9,380	107.1
(3) 学校建設費	1	1	0	100.0
3 中学校費	452,348	138,468	313,880	326.7
(1) 学校管理費	345,774	64,582	281,192	535.4
(2) 教育振興費	106,574	73,886	32,688	144.2

(単位：千円)

区分 \ 年度	7年度	6年度	増減	対比 %
4 社会教育費	303,701	290,829	12,872	104.4
(1) 生涯学習総務費	68,797	71,055	△ 2,258	96.8
(2) 図書館費	107,077	105,479	1,598	101.5
(3) 文化事業費	29,553	28,130	1,423	105.1
(4) 文化財保護費	32,765	32,884	△ 119	99.6
(5) 生涯学習センター費	65,509	53,281	12,228	123.0
5 保健体育費	130,449	126,300	4,149	103.3
(1) 保健体育総務費	41,942	38,681	3,261	108.4
(2) 体育施設管理費	10,546	9,051	1,495	116.5
(3) 総合体育文化センター費	77,961	78,568	△ 607	99.2
6 給食センター費	447,467	410,346	37,121	109.0
(1) 給食センター費	447,467	410,346	37,121	109.0

【メモ】

学 校 教 育

学校教育の主要施策

1 確かな学力の推進

個に応じ個を生かす学習指導の具現化に努め、児童生徒の確かな学力の定着を図ります。

－具体的な取組内容－

- ・教員の指導力の向上
- ・きめ細かい教育体制の整備
- ・外国語教育の充実・強化
- ・保護者等と連携した外国にルーツをもつ児童生徒への相談体制の充実
- ・特別支援教育の充実
- ・楽しい授業・わかる授業の実践
- ・特色ある教育・学校づくりの推進
- ・ICT教育と情報モラル教育の充実・強化
- ・学習支援の充実

2 豊かな心・たくましい体の育成

地域や関係団体と連携を深め、子どもの健全な心とからだの育成に取り組めます。

－具体的な取組内容－

- ・「岩倉市子ども条例」の推進
- ・道徳教育の充実
- ・いじめの未然防止と早期対応
- ・地域等と連携した様々な体験活動の充実
- ・平和理解の推進
- ・読書活動の推進
- ・社会情勢に対応した教育の推進
- ・人権教育の推進
- ・児童生徒・保護者への相談体制の整備
- ・文化・芸術にふれる機会の充実
- ・環境教育の推進
- ・国際的な視点の育成
- ・キャリア教育の推進
- ・健康教育の推進

3 学校における教育体制の整備

家庭、地域、関係機関との連携により、地域ぐるみの協力体制を構築しつつ学校の教育環境を整備します。

－具体的な取組内容－

- ・就学支援体制の充実
- ・地域とともにある学校運営の推進
- ・「チーム学校」の実現に向けた取組
- ・学校・家庭・地域との連携強化
- ・学校評価の実施体制の充実
- ・関係機関の連携強化

4 安心して学べる環境づくり

児童生徒が安心して、快適に学べる学校環境を整備するとともに、時代の変化や社会情勢に対応します。

－具体的な取組内容－

- ・地域との協働による安全な教育環境づくり
- ・学校施設の安全性・機能性の向上
- ・学校施設の再整備

教職員数

令和7年4月1日現在（単位：人）

区分	校長	教頭	養護教諭	常勤教員	事務職員	栄養教諭	非常勤教職員	計
岩倉北小	1	1	1	36.5	2		15（11）	56.5（11）
岩倉南小	1	1	1	28.5	1		12（10）	44.5（10）
岩倉東小	1	1	1	18	1	1	9（8）	32（8）
五条川小	1	1	1	23.5	1	1	12（8）	40.5（8）
曾野小	1	1	1	29	1		15（10）	48（10）
小学校計	5	5	5	135.5	6	2	63（47）	221.5（47）
岩倉中	1	1	1	50	2		12（6）	67（6）
南部中	1	1	1	29	1		10（5）	43（5）
中学校計	2	2	2	79	3		22（11）	110（11）
合計	7	7	7	214.5	9	2	85（58）	331.5（58）

*（ ）は市費非常勤教職員 内数

研究指定校

学校名	研究事業等	委託・委嘱の区分	委託・委嘱年度
五条川小学校 岩倉中学校 南部中学校	「魅力あるあいちキャリアプロジェクト」推進事業	愛知県教育委員会	R7
岩倉中学校	学校教育研究委嘱事業	岩倉市教育委員会	R7～R9

事業概要

1 学習指導関係

(1) 外国語（英語）活動事業

6人の外国語教育非常勤講師が各小学校を巡回し、担任教師とともに外国語（英語）活動の指導を行っている。

- ・外国語を学ぶことを通して積極的にコミュニケーションを図ることができるようにする。
- ・日本と外国の言語や文化について、体験的に理解を深めることができるようにする。

(2) 外国人児童生徒適応指導事業

日本語教育指導員2人とフィリピン語の日本語教育支援員、日本語適応指導教員14人が連携しながら、外国人児童生徒の適応指導に努めている。

- ・小中学校に在籍する外国人児童生徒に対して、学校生活適応指導や日本語指導を行う。
- ・ブラジル人講師により母国語（ポルトガル語）を指導する。

(3) 少人数指導事業

個々の児童生徒の学習状況に応じたきめ細かい指導を行い、楽しく分かりやすい授業をめざす。

- ・個々の児童生徒の多様な学習要求（学力レベル）に対応できる体制づくりに努め、一人一人に達成感・充実感を味わわせ、基礎基本の定着を図る。
- ・学習集団を小さくすることにより、誰もが学習の主体者であるという意識を持たせ、学習意欲を高める。

①少人数授業等非常勤講師

個々の児童の学習状況に応じたきめ細かい指導を行うため、少人数授業等非常勤講師を配置する。

②中学校重点教科非常勤講師

中学校の数学・英語を重点教科として捉え、指導を充実させるため非常勤講師を配置する。

(4) 保健室支援非常勤講師配置事業

養護教諭の保健業務を補助する目的で比較的規模の大きい学校に配置する。

(5) 読書指導員配置事業

学校図書館活動の充実を図る目的で各学校に配置する。

(6) 平和教育事業

①中学生平和教育事業

平和や戦争の悲惨さを考える授業や人間愛を考える道徳授業等を行い、平和への意識を高める。

②平和祈念派遣事業(隔年で広島と長崎に派遣)

平和祈念式典等へ中学生9人・小学生5人を派遣し、平和教育を推進する。

③被爆体験談等を聞く会

被爆体験談や戦争体験談を聞くことにより、平和を尊び大切にする心の醸成を図る。

(7) 海外派遣事業

中学生 10 人を海外に派遣し、ホームステイを通して文化や歴史、生活様式等を学ぶことで、国際理解を深めることを目的に実施する。

令和 2～5 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止していたが、令和 6 年度に再開。

・派遣先 モンゴル ウランバートル（平成 24 年～）

(8) 魅力ある学びづくり支援事業

学校の主体性や独自性を大切にした取組を推進し、子どもや教師、地域社会にとって魅力ある学校づくりを支援する。

2 特別支援教育関係

(1) 特別支援教育支援員配置事業

通常学級に在籍し教育活動に支障がある児童生徒に対し、個別に支援が必要な場合に、担任を補助する目的で配置する。

(2) 通級指導教室事業

①ことばの教室

吃音（きつおん）や、言語発達遅滞、さ行・た行など特定の音の発音が正しくできないなどといった構音障がいのある児童を始め、コミュニケーションに課題がある児童などに対し、専任教員が全小学校を巡回して個々の特性に応じた指導・訓練を行う。

②すずらん教室・ひまわり教室・さくら教室・そよかぜ教室

秋桜（こすもす）教室・南風（みなみかぜ）教室・ポプラ教室

情緒障がいや自閉症、学習障がいなどのある児童生徒に対し、個々の特性に応じた自立活動や教科補充等の個別指導を行う。令和 7 年度から新たにポプラ教室を開設し、市内全ての小学校に通級指導教室を設置した。

(3) 医療的ケア児支援事業

医療的ケアが必要な児童生徒に対し、直接的な支援を行うため、看護師を配置して継続的な支援を行う。

3 適応指導関係

(1) 教育支援センター「おおくす」

令和 6 年 4 月に適応指導教室「おおくす」から名称変更した。

■設置目的

学校生活での困難さがみられ、不登校およびその傾向にある小中学校の児童生徒を対象に、一人一人に応じたさまざまな活動や学習を通して生活リズムを取り戻し、自立心及び社会性を育み社会で生きていく力を身に付けることを目指すため支援する。

■名称等

名 称…教育支援センター「おおくす」

設置場所…岩倉市中本町西出口 15 番地 1 くすのきの家 2 階

電話・FAX (0587) 38 - 0300

開室時間…月曜日～金曜日の午前9時から午後3時まで

夏休み等の長期休業中は休室（ただし期間を決め午前中のみ自由来室）

■指導方針

- ア 不登校児童生徒のありのままを受け入れ、共感的支援に努め、安心できる居場所となるようにする。
- イ 自立と集団への適応を目的とした諸活動（集団遊び、運動、作業、体験学習、教科学習の補充等）を通して、自主性・自発性を高め、社会的自立へのエネルギーを高めていくようにする。
- ウ 学校、家庭及び関係機関との連携を大切にし、支援を行う。

■入室対象者

岩倉市内の児童または生徒のうち、校長が個別的な相談、援助を必要と認めた児童生徒で、本人の入室意欲と保護者の入室要請のある者。

（２）校内教育支援センター

令和7年度より、登校することはできるが教室に入ることができない生徒のための、安心して過ごせる場所として、岩倉中学校及び南部中学校において校内教育支援センターを設置し、指導員が支援を行う。

（３）カウンセリング事業

教育支援センターにカウンセラーを配置（平成18年度）。原則として毎週火曜日の午前9時から正午まで、金曜日の午後1時から午後4時までカウンセリング活動を実施。岩倉北小学校、曾野小学校、岩倉中学校、南部中学校に配置されているスクールカウンセラーや学校教育課に配属しているスクールソーシャルワーカーと連携を図りながら相談活動を進めている。

（４）メンタルフレンド事業

不登校の児童生徒の中には、学校や地域等の大人はもちろん、同級生等とも会話もしない、いわゆる「引きこもり」となっている子どもたちがいる。そういった子どもたちに対して、年齢が近い大学生等を自宅へ派遣し、一緒に遊んだり、運動したりするなどの活動を通じて、徐々に心を開かせ、閉じこもりから抜け出させるため実施するもの。教育支援センター指導員と緊密に連携をとりながら教育支援センターへ、さらには学校への登校を促していく。

4 生徒指導関係

不登校の問題をはじめ、いじめ問題、非行問題等の背景には複雑な要因が絡んでおり、その対処に当たっては、学校はもとより、家庭や地域社会が一体となった取組が必要である。

本市では、「岩倉市小中学校生徒指導推進協議会」（平成7年度）を設置し、学校・家庭・地域が連携して取組を進めてきたが、令和3年度からは、生徒指導推進協議会と授業デザイン研究会を市教育研究会に統合・再編して、諸機関との情報交換等をより効率的で有効なも

のとし、児童生徒の健全育成に努めている。

岩倉中学校に配置した不登校対策に特化した主幹教諭を中心に不登校対策を協議する会議を開催した。また、適切な支援を行うための支援マニュアル「学校が苦手な児童生徒の保護者の方へ」を作成し、児童生徒の保護者に情報配信メール「すぐーる」で配信するとともに、ホームページに掲載するなど周知を図った。

(1) 子どもと親の相談員配置事業

不登校や問題行動、児童虐待等の早期発見・早期対応や未然防止のために各小学校に相談員を配置する。

- ・児童生徒の話し相手・悩み相談
- ・家庭・地域と学校の連携の支援
- ・児童生徒の学校生活支援
- ・学校の教育相談活動の支援

(2) スクールソーシャルワーカー配置事業

家庭問題等を抱える保護者や子どもの相談に乗り、問題解決に向けて、関係機関と連携して対応にあたるため、教育委員会にスクールソーシャルワーカーを配置する。

(3) 授業デザインアドバイザー配置事業

教員に対し専門性の高い指導及び支援を行うことで、教員の資質及び能力の向上を図ることを目的として、授業デザインアドバイザーを配置する。

5 学校運営関係

コミュニティ・スクール導入事業

保護者や地域が一定の権限をもって学校運営に参画することにより、目標やビジョンを共有して、社会総がかりで子どもたちの健全育成や学校運営の改善に取り組む。

令和7年度までに、全小中学校でコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入し、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていく。

令和6年度は、岩倉中学校区（岩倉北、岩倉南、五条川小学校、岩倉中学校）において、コミュニティ・スクールを導入し、校長が作成する学校運営の基本方針等の承認及び学校運営について校長と協議する場として学校運営協議会を定期的で開催した。また、令和7年度の南部中学校区の導入に向け各小中学校（岩倉東、曾野小学校、南部中学校）に準備委員会を設置し、学習会や役割分担、実働組織の検討など、コミュニティ・スクールアドバイザーの支援を受けながら、第1回から第3回までを合同で、第4回は学校ごとに開催した。

6 中学校部活動の地域連携・地域展開

部活動における教員の負担軽減を図るとともに、部活動の指導等に意欲のある地域人材の協力を得ながら、生徒にとって望ましい部活動の実現を図る。

令和6年度は中学校の部活動の地域連携・地域展開に向けて、「中学校部活動の地域連携・地域展開推進計画」に基づき、部活動の指導者を、教員から地域人材へと比重を移すことや、

中学生の活動の場を学校教育から社会教育へと拡充していくことを踏まえ、外部指導員として単独で引率のできる教員経験者を部活動指導員として新たに任用し、顧問による技術指導が困難な部活動に部活動サポーターを増員した。また、サッカー部と柔道部を合同部活動として活動を開始したほか、令和6年12月24日に部活動座談会を開催し、一般社団法人未来地図代表理事の代田昭久氏を講師に招いての事例紹介やグループディスカッションを通して、児童生徒、保護者、教職員、地域指導者がそれぞれの立場から意見や想いを共有するとともに、具体的課題等について議論を行った。

7 現職教育関係

学 校 名	研 究 主 題
岩倉北小学校	学びひたる ～三位一体の学び（TDL）を実現する～
岩倉南小学校	自ら学びを紡ぐ子どもたち
岩倉東小学校	誰もが夢中になる授業の創造
五条川小学校	対話で高め合う五条川っ子
曾野小学校	課題解決に向かい変容していく児童の姿を目指す授業づくり ～聴く・話す活動を軸とした学びあう活動を通して～
岩倉中学校	学びひたる
南部中学校	知をひらく

8 小中学校屋内運動場等空調設備設置

小中学校の屋内運動場等は、学校の授業や部活動、学校開放、災害時の避難所にも指定されていることから、昨今の猛暑から児童を守るため、令和7年度に空調設備を導入した。

9 照明設備のLED化

令和5年度に策定した、第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）（令和6年度～令和12年度）をもとに、省エネルギー対策の一環として、照明設備を令和7年3月から10年間のリース契約によりLED照明に更新した。

10 就学助成関係

(1) 要保護準要保護就学援助制度

経済的理由によって就学困難な児童生徒について、学用品費等を支給することにより、小中学校における義務教育の円滑な実施を図ることを目的とする。

要保護及び準要保護児童生徒の認定		補助対象費目
要保護児童生徒	保護者が生活保護法（昭和 25 年法律第 144 号）第 6 条第 2 項に規定する要保護者である児童生徒	修学旅行費・医療費（学用品費等については生活保護法により支給）
準要保護児童生徒	保護者が生活保護法による要保護者に準ずる程度に困窮していると認められる児童生徒	修学旅行費・医療費・学用品費・校外活動費（宿泊を伴うもの）・新入学児童生徒学用品費等・給食費・PTA 会費・生徒会費・卒業アルバム代等・オンライン学習通信費

1人当たりの補助金額

補助対象費目(年額)	区分	小 学 校		中 学 校	
	学年	1 年	2～6 年	1 年	2～3 年
学用品費・通学用品費・校外活動費（宿泊を伴わないもの）		11,630 円	11,630 円	22,730 円	22,730 円
修学旅行費		—	(6 年) 上限 22,690 円	—	(3 年) 上限 60,910 円
新入学児童生徒学用品費等		57,060 円	—	63,000 円	—
校外活動費（宿泊を伴うもの）		—	(5 年) 上限 3,690 円	—	(2 年) 上限 6,210 円
医療費		特定疾病の自己負担分		左 に 同 じ	
給食費・PTA 会費・生徒会費		実 費		左 に 同 じ	
卒業アルバム代等		—	(6 年) 上限 11,000 円	—	(3 年) 上限 8,800 円
オンライン学習通信費		実費 ※月額基準 1,000 円 上限 14,000 円		左 に 同 じ	

(2) 特別支援教育就学奨励制度

小中学校の特別支援学級への就学特殊事情を考慮し、保護者の経済的負担を軽減することにより特別支援教育の振興に資することを目的とする。

＜補助対象費目＞ 準要保護児童生徒の補助対象費目に同じ。(医療費・PTA会費・生徒会費・卒業アルバム代等・オンライン学習通信費を除く。)

＜補助額＞ 保護者の負担能力に応じて、準要保護の2分の1の額。

(3) 第3子以降の学校給食費無償化

義務教育期間にある児童生徒が3人以上ある世帯に、第3子以降の学校給食費を無償化することにより、少子化対策・子育て支援を図ることを目的とする。

令和6年度より対象を1人目、2人目の要件を「義務教育期間中」から「18歳に達する日以後の最初の3月31日まで」の間にある子等に拡大し無償化。

＜対象経費＞ 一食単価に給食回数を乗じた額

小学校 一食単価 270 円 / 中学校 一食単価 300 円

(4) 私立高等学校等授業料補助

私立高等学校等の授業料を負担している者に対して補助金を交付することにより、公立学校授業料負担との格差の是正を図り、教育の機会均等の原則を確保し、併せて私立学校教育の振興に寄与することを目的とする。

＜補助額＞

- ・ 県区分甲に該当する世帯 年額 22,000 円
- ・ 県区分乙に該当する世帯 年額 14,500 円

(5) 学校給食費支援事業

物価高騰の影響により、学校給食においても食材価格が高騰しているため、小中学校の給食費を支援することで、保護者の負担を増やすことなく、栄養のバランスを維持した学校給食を児童生徒に提供することを目的とする。

＜補助額＞

令和7年4月から給食費を小中学校ともに30円増額し小学校300円、中学校330円に改定。児童生徒の給食費のうち増額する1食当たり30円は市が負担する。

【メモ】

小 中 学 校 の 紹 介

岩倉市立小中学校位置図



岩倉市立五条川小学校
〒482-0033 岩倉市神野町郷浦18番地
Tel (0587) 66 - 3125
Fax (0587) 37 - 9514
E-mail gojyogawa-e@iwakura.ed.jp

岩倉市立岩倉北小学校
〒482-0043 岩倉市本町南新溝廻間2番地
Tel (0587) 37 - 1221
Fax (0587) 37 - 9511
E-mail iwakurakita-e@iwakura.ed.jp

岩倉市立岩倉中学校
〒482-0036 岩倉市西市町竹之宮24番地
Tel (0587) 37 - 1208
Fax (0587) 37 - 9516
E-mail iwakura-j@iwakura.ed.jp

岩倉市立岩倉東小学校
〒482-0041 岩倉市東町掛目1番地
Tel (0587) 66 - 2311
Fax (0587) 37 - 9513
E-mail iwakurahigashi-e@iwakura.ed.jp

岩倉市立岩倉南小学校
〒482-0026 岩倉市大地町小森93番地1
Tel (0587) 66 - 1008
Fax (0587) 37 - 9512
E-mail iwakuraminami-e@iwakura.ed.jp

岩倉市立南部中学校
〒482-0003 岩倉市曾野町江毛1番地
Tel (0587) 66 - 3181
Fax (0587) 37 - 9517
E-mail iwakurananbu-j@iwakura.ed.jp

岩倉市立曾野小学校
〒482-0003 岩倉市曾野町井森1番地
Tel (0587) 66 - 3214
Fax (0587) 37 - 9515
E-mail sono-e@iwakura.ed.jp

北名古屋市

1:20,000

0 90180 360 540 720
メートル

岩倉市立岩倉北小学校

創 立 明治6年9月

郵便番号 482-0043

所 在 地 岩倉市本町南新溝廻間2番地

電話番号 (0587) 37-1221

F A X (0587) 37-9511

U R L <http://www.iwakura.ed.jp/iwakurakita-e>



1 教育目標 (校訓) (目指す児童像)

- | | | |
|-----|---|--------------------|
| 正しく | － | 自らを律し、深く考え、粘り強く学ぶ子 |
| 強く | － | からだを鍛え、心身ともにたくましい子 |
| 仲よく | － | 礼節を重んじ、他を思いやる心豊かな子 |

2 経営方針

わたしとあなたとみんなの学校
誰もが主人公となり育ち合う学校づくりの推進

ア 教えひたる教師・学びひたる子ども

- 学習指導要領の趣旨を踏まえ、今日の学びが明日の学びにつながり、これから先の豊かな人生へとつながっていくような、質の高い学びづくりに努める。
- 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら判断して行動しようとする、確かな学力を育成する。
- 教師自身が力量向上に努め、子どもとともに育ち合おうとする職員集団を目指す。

イ しなやかでやわらかであたたかな子ども

- 自己を見つめ、粘り強く前向きに行動しようとするしなやかさを養う。
- 「笑顔プラス」を合言葉に、自分だけでなく他者も大切にしようとするやわらかであたたかな関係づくりを目指す。

ウ つながる学校

- 学校運営協議会を設置し、地域と学校による協議に基づいて学校運営を推進する。
- 地域学校協働活動を推進し、地域の活動拠点として社会に貢献できる開かれた学校、地域社会と積極的に連携しようとする学校を目指す。

3 本年度の重点努力目標

ア 授業を大切にする

- 全員の学びと向上的変容を約束する授業づくりに努める。
- 仲間と協働して学び合おうとする子どもを育てる。
- 研修の充実を図り、新しい知との出会いを保障する「学びがいのある学び」を追究する。

イ 日常を大切にする

- 人間関係づくりを重視し、安心できる居場所としての学校を目指す。
- 児童会活動、清掃、給食など日常の教育活動に丁寧に取り組み、言葉を大切にされた指導を進め、豊かな人格形成を図る。
- チャレンジ活動、ペア交流等の活動を充実させ、よりよい人間関係づくりに努める。
- 「INK(いじめのない北小)」を宣言し、教育相談活動や人権教育、道徳教育の充実を図る。
- 家庭と協力し、食事や睡眠などの規則正しい生活習慣を身に付けさせる。

ウ 行事・児童会活動を大切にする

- 学習成果の発表とさらなる成長の機会とし、意図的・計画的に実践する。
- 企画、準備、運営等に、児童や保護者の積極的な参画を促す。
- 異学年、全校、保護者、地域が交流する場と位置付け、人間的成長を図る。

エ 地域を大切にする

- 地域活動や地域行事への参加を促すとともに、活動拠点として学校施設の活用を図る。
- 地域の各団体や諸機関との連携を図り、教育活動への協力・支援体制を構築する。
- 地域の幅広い分野から学校に関する意見や評価を聴取し、積極的に学校運営に取り入れる。

オ 教職員の思いを実現する

- 夢を語り合い、自己が描く教職員人生を実現できる学校を目指す。
- 働き方改革により業務改善を推進し、働きやすくゆとりのある職場環境づくりを目指す。

4 本校の特色

本校は明治6年創立、152年目を迎えた児童数691人、学級数29（うち特別支援学級7）の大規模校である。近年都市化が進んでいる岩倉市の中心部に位置し、地域の学校教育への高い関心と協力で支えられ、日々教育活動に取り組んでいる。

本校では、平成25年に研究委嘱を受託したことを機に、子どもの学びを広げる授業づくりに継続して取り組んできた。今年度からは、研究テーマを「学びひたるー三位一体の学び（TDL）を実現するー」と定め、三位一体（「新しい知と出会う」「自己を見つめる」「他者と学びを調整する」）の3つの軸を大切にし、個の学びの更なる質的向上を目指して研究を推進する計画である。昨日までの自分が、今日新しい知と出会い、自分の世界を広げ、明日の新しい知と出会う機会を、どの子にも保障する授業づくりに努めている。このような授業を実現するために、授業づくりの心構えとして、①全ての子どもに学ぶ権利を保障する授業、②確かな授業力に支えられた質の高い授業、③年間を通じた一定水準以上の授業を設定し、校内研修に取り組んでいる。

また、本校では「笑顔プラス」を合言葉としている。この言葉には、他者との関係性を豊かなものにしていける象徴的な意味が込められている。「笑顔プラス」は学校生活のあらゆる場面で活用され、子どもたちの中に根付いたものとなっている。

令和2年度に制作した『笑顔プラスの歌ー笑顔でコロナを吹き飛ばせー』は、新型コロナウイルス感染症の影響で教育活動が大きく制限される中、少しでも児童を笑顔にしたいという思いで制作したものである。この歌は、歌詞の言葉を子どもから集め、それをもとに音楽担当が作曲した。現在では、本校のテーマソングとして子どもたちに浸透し、親しまれている。

学校行事や子どもたちが学習にかかわる場面では、子ども相互、保護者や幼稚園・保育園児、中学生、地域の人たちとふれあう機会を設け、心豊かな児童の育成を図っている。子どもたち相互のふれあい活動として、ペア学級を基本とした交流活動に取り組んでいる。また、読み聞かせやあいさつ運動など委員会活動においても異学年交流を行っている。交流を通して仲間づくりだけでなく上級生が下級生に、行事に対する思いやマナーを伝えることで、岩倉北小学校の文化の継承にも役立っている。

PTAやボランティア活動など保護者や地域の協力も盛んである。平成20年度より、環境教育の一環としてPTAと子どもたちが一緒になってアルミ缶収集活動を実施している。図書館ボランティアの活動では、時季に応じた環境整備や工夫を凝らした読み聞かせなどが定期的に行われており、子どもたちの読書習慣の育成につながっている。また、地域の歴史的文化についての学習にも、山車やからくり人形の実物に触れたり、新溝神社の祭礼について詳しい解説を聞いたりするなど、地域の協力により貴重な体験が得られている。このように、地域や保護者の理解と協力が本校を支える大きな柱となっている。

令和5年度は創立150周年にあたり、各学級で150周年を祝う活動やドローン撮影、演劇鑑賞を実施した。また、本校卒業生の書道家、栗津紅華氏より「笑顔の花咲く」の書も寄附された。

令和6年度より、学校運営協議会が設置され、児童の健やかな成長のための活動を進めている。

岩倉市立岩倉南小学校



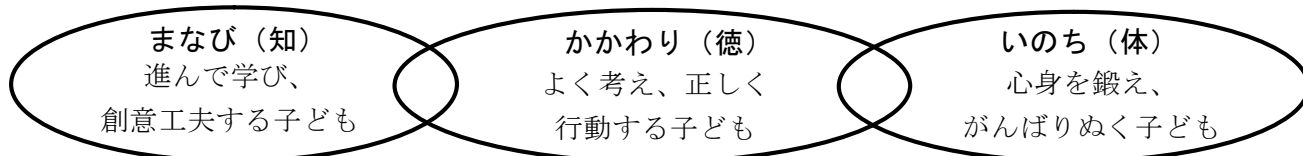
創 立 明治6年11月
 郵便番号 482-0026
 所 在 地 岩倉市大地町小森93番地1
 電話番号 (0587) 66-1008
 F A X (0587) 37-9512
 U R L <http://www.iwakura.ed.jp/iwakuraminami-e>
 E-Mail iwakuraminami-e@iwakura.ed.jp

1 教育目標・全体構想

【教育目標】

豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもの育成 — 「まなび」「かかわり」「いのち」

【目指す子ども像】



《 確かな学力 》

- ◇主体的・対話的で深い学びに向けての授業改善の推進
- ◇生きて働く知識・技能の習得
- ◇思考力・判断力・表現力の育成
- ◇基礎基本の定着と少人数指導によるきめ細やかな支援
- ◇特別支援教育、インクルーシブ教育への理解と温かな指導・支援
- ◇1人1台端末の効果的な活用
情報モラル教育の推進

《 豊かな心 》

- ◇安心できる関係、親和的な集団づくりの推進
- ◇道徳教育・人権教育の充実による豊かな人間性と規範意識
人権意識の醸成
- ◇学校行事・学級活動等を通じた
集団への帰属意識の育成
- ◇異学年、異校種、地域との
かかわりを大切にした体験的な
活動の推進

《 健やかな心と体 》

- ◇挨拶、マナー、生活リズム等の
基本的生活習慣の定着
- ◇防災・安全教育の推進による
安心安全な環境整備
- ◇健康教育、食育、いのちの教育、
性教育の推進
- ◇体づくり運動の充実、発達に
応じた体力づくり
- ◇清掃指導の充実による快適
な校内環境づくり

【目指す学校像】

- 特色ある学校づくり …… 家庭との連携強化、地域に根ざした教育活動の推進
 - 開かれた学校づくり …… 家庭・地域への情報発信、幼保小中との連携、CS（コミュニティ・スクール）推進
 - 信頼される学校づくり…… 子どもが明日も通いたくなる学校、保護者が安心して通わせたい学校、地域が誇れる学校、教職員が働きがいのある学校
- ☆ 明るく 楽しく 元気な学校 ☆ ありがとうと笑顔いっぱいの学校

【本年度の重点努力目標】

- ア 安全な学校環境の中で、安心できる人間関係・居場所、親和的な集団づくりに努める。
- イ 主体的・対話的で深い学びに向けての授業改善により、自ら学びを紡ぐ子を育てる。
- ウ 道徳・人権教育の充実を図り、豊かな人間性と人権意識・規範意識の醸成に努める。
- エ インクルーシブ教育への理解を図り、個に応じた細やかで温かな指導・支援を進める。
- オ 学校での「あたりまえ」を見つめ直し、生活・学習面の「あたりまえ」を磨いていく。
- カ 同僚性・専門性を高め合い、互いに支え合う風通しのよい職場環境づくりを進める。

2 本校の特色

本校は、明治6年(1873年)に憲道学校の名で創立され、150年の歴史を誇る小学校である。児童数485人、学級数22(内特別支援学級5)の中規模校で、名古屋市のベッドタウンとしての住宅地と近郊農業地域からなっている。

教育目標は、「豊かな心をもち、たくましく生きる子どもの育成」とし、「まなび」「かかわり」「いのち」を学校経営の3つの柱と位置付けている。「まなび」としては、主体的・対話的



【3年生カリフラワー苗植え体験】

で深い学びに向けた授業づくりを進め、生きて働く知識・技能を習得し、未知の状況に対応できる思考力・判断力・表現力を身に付けた「進んで学び創意工夫する子ども」の育成を目指している。「かかわり」としては、安心できる人間関係・居場所づくりや親和的な学級づくりを進め、豊かな人間性や規範意識・人権意識を身に付けた「よく考え、正しく行動する子ども」の育成を目指している。さらに「いのち」では、基本的生活習慣の定着を図り、安心安全な環境の中で、防災・安全教育、健康教育、食育、いのちの教育、体づくり運動などを推進し「心身を鍛え、がんばりぬく子ども」の育成を目指している。

本校は、平成23・24年度に研究委嘱を受け、「つなぎ合う喜びを感じる南っ子」を研究主題とした実践を進めた。かかわり合いのスキルを身に付け、豊かな人間関係づくりを進めるとともに、対話を通して学び合うことにより自らの学びを深めていく授業づくりについての研究成果を発表した。

令和元年度からは研究主題を「自ら学びを紡ぐ子どもたち」とし、子どもたちが楽しさを感じ生き生きとしている授業、自分の思いや考えを素直に出し合い共に高め合える授業、自らの思考が深まっていく授業を目指し、研究を進めている。平成30年度からは、人権教育の推進校として岩倉市子ども人権合い言葉（「自分を大切に」「仲間を大切に」「どんな人も大切に」）や子ども人権の歌



【5年生田植え体験】

「また明日ね」の啓発や、道徳教育や人権教育などを通した規範意識・人権意識の醸成を図っている。さらに、これまで築いてきた保護者や地域との深い繋がりを基盤に、地域に根ざした教育活動を進めている。スクールガードの活動では、全保護者による当番制で登下校時の安全を見守ってもらっている。図書ボランティアの活動では、毎週木曜日の各学級での読み聞かせや図書館の掲示物制作をしてもらっている。英語ボランティアの活動では、毎週水曜日に英語を楽しく学ぶ活動をしてもらっている。さらに3年カリフラワー収穫、4年UD町探検や福祉実践教室、5年稲作体験等で、地域の教育力を生かした体験的な活動を行っている。令和2年度には、本館の大規模改修工事を行い、1～4年生までの教室、廊下、トイレ、手洗い、昇降口などの全面改修をし、良好な生活・学習環境が整えられた。また、一人1台端末（タブレット）が配置され、その効果的な活用を図りながら、主体的で対話的な深い学びに向けた授業改善等、新たな学びのスタイルを全職員で進めている。

令和5年度には開校150周年を迎え、南小の歴史や伝統について学ぶとともに、さまざまな周年行事を開催した。また、令和6年度には学校運営協議会を設置し、学校・学年行事を地域ボランティアにサポートしてもらうことで、学校と地域のつながりが強まった。

これからも学校・家庭・地域が一体となった教育活動を通して、子どもたちの健やかな成長を支えつつ、特色ある学校・開かれた学校・信頼される学校づくりを進めていきたい。

岩倉市立岩倉東小学校



創 立 昭和41年4月
郵便番号 482-0041
所 在 地 岩倉市東町掛目1番地
電話番号 (0587) 66-2311
F A X (0587) 37-9513
U R L <http://www.iwakura.ed.jp/iwakurahigashi-e>
E-Mail iwakurahigashi-e@iwakura.ed.jp

1 教育目標

(1) 教育目標

心身共に健康で、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を目指す。

(2) 目指す児童像

自己の良さを知り、楽しみながら学ぶ子

夢と希望をもち、目標に向かって粘り強く努力する子

気づき、考え、行動する子

思いやりがあり、助け合う子

2 重点努力目標

- 世界にはばたく東っ子の育成
- 地域に開かれた教育課程を推進し、郷土愛、郷土で生きる覚悟、夢と将来のビジョン、利他共生、感謝の気持ちを育む
- 互いに支え合える風通しのよい職場環境づくりを進める
- 業務改善に向けた学校マネジメントの推進

3 本校の特色

本校は、昭和41年に日本住宅公団岩倉団地の新生により開校した。団地に居住している児童が大部分を占めており、昭和50年代の児童数ピーク時には、1,200人余りの児童が在籍したが、その後減少傾向をたどり、現在では140人の児童数となっている。

開校時から、FBC花壇コンクールに参加し、教育活動に位置付けて全校児童で取り組んできた。令和元年度からは児童数減少のためコンクールの参加を取りやめたが、コンクールで培ったこれまでの成果を生かし、外部講師を招いて学年教材園でのカリフラワーなどの野菜作り等の勤労体験活動の取組を継続している。その学習を通して、勤労の尊さを学び、奉仕の心や連帯感を育むことにより、「人間性豊かな児童の育成」を目指している。

学校施設においては、平成2年度の北館大規模改造工事で「東っ子ホール」を整備、平成5年度の南館大規模改造工事で玄関・職員室・和室等の整備・改修、平成13年度には体育館改築工事が実施された。令和元年度には各教室に空調設備が設置された。

令和7年度は外国にルーツをもつ児童72名が在籍しており、日本語適応指導教室において、各自の日本語能力(ステップ別)に応じた日本語の指導、国語や算数等、教科補充学習が行われている。学校生活適応指導教室では来日したばかりで日本語が分からない市内7校の外国人児童・生徒に対して、本校をセンター校として学校生活に必要な日常会話やきまり、文字の指導等(集中初期指導)を実施している。また、誰もが夢中になる授業を目指し、通常学級部会、特別支援学級部会、日本語指導教室部会の3部会制を取り入れた現職教育に取り組んでおり、授業では、基礎・基本の充実に重点を置き、少人数指導によるきめ細やかな支援を行っている。



＜ 多様な考えや文化を尊重し合う子どもたち ＞

研究活動においては、平成6年から15年まで市教委より特色ある教育研究として「自然体験活動の研究」の委嘱を受け、自然体験・勤労体験学習を通して勤労の尊さを養うことをねらい実践に取り組んだ。平成13年度から3年間、文部科学省の「教育総合推進地域事業」推進協力校の指定を受け、学校・家庭・地域社会が一体となった教育上の総合的な取組を推進した。また、平成14年度は、愛知県教育委員会より「学校と家庭を結ぶ道徳教育推進事業」の委嘱を受け、道徳教育の研究推進にも取り組んだ。平成18年度は、愛知県教育委員会より「心をむすぶ学校づくり」推進事業の委嘱を受けた。友達や教師、保護者、地域の人々と関わり、心をむすぶ活動を展開し、学校独自の文化を創造していくことによって、子どもたちにとって真に楽しい学びの場となるような学校づくりを支援し、一層の活性化を図った。また、平成18・19年度は、愛知県教育委員会より学校教育研究(学校評価)の委嘱を受け、「教育の質を高め、保護者や地域に理解され、信頼される学校を目指す学校評価」を研究主題に研究に取り組んだ。こうした継続研究や花壇作業を通した取組が評価され、平成24年には環境美化教育優良校として表彰を受けた。令和元年度は市教委の委嘱を、令和2・3年度は丹葉地方教育事務協議会より委嘱を受け「世界にはばたく東っ子」を研究主題とし、世界で活躍できる児童の育成を目指して研究を進めた。合わせて、愛知県金融広報委員会より金銭教育研究の委嘱も受け、キャリア教育を軸とした勤労を尊ぶ考え方を身に付ける実践を推進した。令和3年11月には研究



＜ ワールドウィーク期間中の活動の様子 ＞

発表会を開催し、それまで実践してきた研究の成果を発表した。3年間の研究を通して、世界で活躍できる児童の育成のための指導方法を多面的に実践し、その礎を築くことができた。令和6年1月には第72回愛知県学校給食研究大会に優良校として表彰を受けるなど、食育にも力を入れている。

また、国際色豊かな子どもたちが在籍していることを生かし、令和3年度より、「ワールドウィーク」を実施している。期間を定め、クイズ大会やプレゼンを行ったり、各国の言葉で挨拶をしたりするなど、各国の文化に触れるよい機会となっている。今後も、保護者や地域とともに学校教育活動を進めていきたい。

岩倉市立五条川小学校



創 立 昭和51年4月
 郵便番号 482-0033
 所 在 地 岩倉市神野町郷浦18番地
 電話番号 (0587) 66-3125
 F A X (0587) 37-9514
 U R L <http://www.iwakura.ed.jp/gojyogawa-e>
 E-Mail gojyogawa-e@iwakura.ed.jp

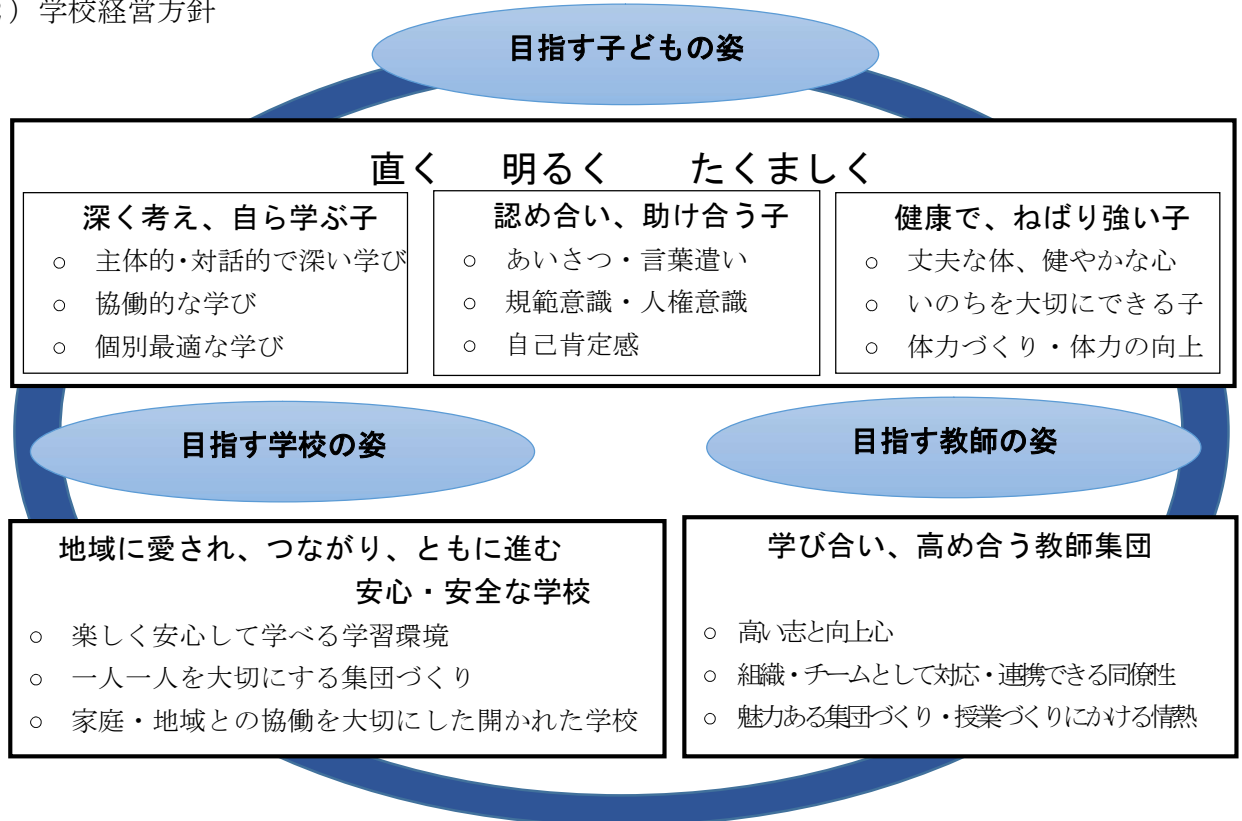
1 教育目標

(1) 教育目標

【 教育目標 】 自ら学び、未来を切り拓く子どもの育成

【 校 訓 】 直く 明るく たくましく

(2) 学校経営方針



2 重点努力目標

- ア すべての子どもの学びを大切にする授業づくり
- イ 個に応じた支援体制の充実
- ウ 家庭・地域との強い連携
- エ 安全教育・防災教育の充実
- オ 教職員が互いに支え合える職場環境の充実

3 現職教育研究主題

「対話で高め合う五条川っ子」

4 本校の特色

昭和 51 年 4 月 2 日、岩倉市立岩倉北小学校のマンモス化解消のため、岩倉市立五条川小学校として四町を校区に開校した。

昭和 55、56 年度には、愛知県健康優良学校として、“特選”“優秀”を、昭和 58 年度には、東海三県学校図書館“奨励賞”を受賞した。

昭和 59 年度に文部省から、昭和 60 年度に丹波地方教育事務協議会から「体力づくり推進校」の研究委嘱を受けた。「こころとからだの健康をめざす体力づくり」を研究主題に、楽しさと喜びをもって活動する児童の育成を図り、昭和 61 年 10 月には研究成果を発表した。

地域交流活動の推進にも努め、岩倉市社会福祉協議会北支会や五条川小学校区コミュニティの協力のもと、昔の遊び体験、昔のくらしの学習をはじめ、餅つきやしめ縄作りの活動を通して交流を深め、地域から学び地域を理解し地域を愛する児童を育成している。

また、昭和 61 年度から続けていた環境保全の取組「水生生物調査」が認められ、平成 8 年度には県知事より、平成 16 年度には環境大臣より環境保全功労者表彰を受けた。現在は、「総合的な学習の時間」等において、広く SDGs の観点から環境への理解を深めていっている。

開校翌年より交通少年団による交通安全啓発活動、市民体育祭における交通安全宣言などの活動を続けてきた。平成 16 年度には愛知県警より「優良交通少年団表彰」、平成 25 年度からは交通安全推進と啓発の地域貢献に対し、毎年感謝状を受けている。ここ 3 年間はコロナ禍で活動が縮小されたが、日々の登下校や校内での交通安全啓発活動を継続している。

学校歯科保健活動の取組においても、平成 9・10 年度の 2 年間、文部省より歯・口の健康づくり推進校の指定を受け、研究実践に取り組んだ。

平成 19 年度には、愛知県教育委員会より「こども食育発信校」の委嘱を受け、「輝く笑顔で健康な生活のできる子ー豊かな心と望ましい食生活の育成を目指して」を研究テーマに食育の研究を進めた。平成 21 年度には愛知県学校給食優良校として、平成 22 年度には文部科学大臣学校給食優良校として表彰を受けた。また、近年は、名古屋市中央卸売市場の方を招いて水産業などについて、著名和食店料理長を招いて和食について学び、食育の推進に力を入れている。



<魚ぎょギョ体験>

平成 26 年度から、岩倉市が愛知県より人権教育の研究委託を受け、以後 4 年間、岩倉市小中学校人権教育研究会の事務局校として人権教育の推進に努めた。「人権尊重の意識をもち、豊かな人間関係をはぐくもうとする児童生徒の育成」を研究主題に、人権に関する映画会、大型紙芝居の制作、人権講演会、岩倉市子ども人権会議などの取組を精力的に進めてきた。他者を尊重し、認め合うために「五条川ソーシャルスキルトレーニング」を行ったり、自己有用感を高めるための異学年交流ペア活動を行ったりと、積極的に仲間づくりや人権意識の高揚・啓発に取り組んでいる。

現職教育では、令和 6 年度には研究主題を「対話で高め合う五条川っ子」とし、研究発表を行った。子どもたちの疑問やわからなさから学びが生まれる授業づくりについて、「『価値づけコトバ』と日々の対話指導による授業における対話力の向上」や「時空を超えた振り返り活動」など子どもが自分らしく学び、自分のよさを発揮することができる授業づくりを目指した研究実践を推進している。また「子ども未来寄合」を開催し、地域の方や行政の方と子どもたちの「学びたい」「つながりたい」といった思いを実現できるように取り組んでいる。



岩倉市立曽野小学校



創 立 昭和56年4月

郵便番号 482-0003

所 在 地 岩倉市曽野町井森1番地

電話番号 (0587) 66-3214

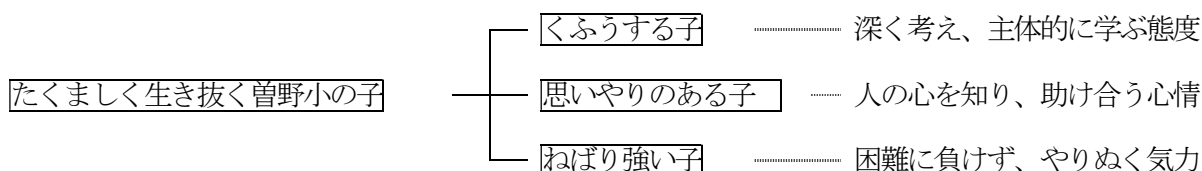
F A X (0587) 37-9515

U R L <http://www.iwakura.ed.jp/sono-e>

E - Mail sono-e@iwakura.ed.jp

1 教育目標

「豊かな人間性」「確かな学力」「健康・体力」からなる「生きる力」を育む教育を推進することによって、児童一人一人の個性を伸ばすとともに、自尊感情と共感力をもって、たくましく生き抜く曽野小の子の育成を目指す。



2 重点目標

ア 学校運営

- 笑顔でつなぎ、笑顔でつながれる、あ（安心安全）た（楽しい）た（たくましい）か（感謝）い（いじめのない）学校を目指す。
- 心をつなぐあいさつ、丁寧に隅々まで行き届いたそうじ、互いに認め合う学び合い、心を合わせひびく歌声、心も体も元気の5つのめあてを全児童・教職員が意識し、徹底した取組を図る。

イ 学級経営の充実

- 「話をしっかり聴き合う力」をつける学級経営は、思いやりのある落ち着いた学級につながる。
 - ・ 人の話は最後までしっかり聞く。
 - ・ うなずいたり、首をかしげたりして聞く。
 - ・ 自分の言葉で表現する。

ウ 学習指導

- 新学習指導要領に基づき、児童の実態に応じた教育課程を編成し、教育活動を計画し、その実施状況をそのつど、評価改善していくカリキュラムマネジメントを行う。
- 聴き合い、かかわり合い認め合う授業を展開し、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す。
- 特別の教科「道徳」の充実を図る。
 - ・ 相手の気持ちや自分の立場を考えた授業を展開して思いやりの心を育み、児童相互の望ましい人間関係や教師の信頼関係に支えられた温かい学級づくりに努める。
- 「英語」「外国語活動」の充実を図る。
 - ・ 先行実施してきたこれまでの成果を生かして、専科教員、AETと担任が連携して英語教育、外国語活動の充実を図る。
- 読書指導の充実を図る。
 - ・ 読書タイムや読書週間を設けて読書機会を確保するとともに、読書指導員、ボランティアグループの連携を通して読書への関心・意欲を高め、心豊かな児童を育てる。
- 歌う機会の充実を図る。
 - ・ 学級・学年を基盤とした合唱を充実させ、異学年や全校による合唱へと発展させることで、歌を通した感性豊かな児童の育成を進める。

エ 生徒指導

- 基本的な生活習慣の定着を図る。
 - ・ ルールの意義を児童、職員と共通理解を進め、きまり正しく心地よい学校生活を実現する。
- 明るく温かな人間関係、笑顔と感謝のあふれる人間関係の確立を図る。
 - ・ いじめは絶対に許さない。全職員、全児童が強い意志で臨むようにする。
 - ・ いつでも、どこでも、誰とでも心をつなぐあいさつがあふれる学校づくりを目指す。
 - ・ 教育相談活動の充実を図り、いじめ・不登校などの問題行動について教職員間で問題を共有し

外部諸機関と連携を密にして、組織的に早期発見、問題解決に努める。

- ・ ルール違反を見逃さないとともに、ルール遵守や適切な行動に肯定的な評価を積極的に与え価値付けをし、児童の集団への貢献する気持ちを高め、前向きな雰囲気を醸成するよう努める。
- ・ 児童の主張を傾聴し、共感的な児童理解に努めるとともに、児童自身が問題に気づき自己決定できるように粘り強い指導を心がける。

オ 安全指導

- 校内・校外生活の安全を図る。
 - ・ 不審者対策等、校舎内外の施設・設備の安全点検に力を注ぎ、事故防止に努める。
 - ・ 登下校時の交通安全指導を徹底し、事故防止に努める。
- 災害時や非常時の対応の強化を図る。
 - ・ 避難訓練や教職員の緊急時対応訓練などを通して、児童及び教職員の危機管理意識を高める。

カ 学校・家庭・地域社会との連携

- 学校の安全管理・防災意識の強化に努める。
 - ・ 校内及び登下校時における不審者への対応として、PTAや地域の方々への協力を依頼し、児童の安全を確保する。
 - ・ 大規模地震を想定したより実践的な避難訓練を実施し、防災意識を高めるとともに、災害時の保護者への引き渡しについて確認する。
- 開かれた学校づくり（学校の応援団を増やす）
 - ・ 家庭や地域社会の教育力を積極的に生かして、より開かれた学校運営を目指す。
 - ・ ホームページを更新し、学校の様子について随時公開していく。
 - ・ PTA・学校運営協議会委員・地域社会・関係諸機関・諸団体との連携を密にして、地域と一体となって健全な児童の育成に努める。

3 本校の特色

本校は、昭和56年4月、岩倉北小学校と岩倉南小学校の児童急増に対応するために開校した、市内で一番新しい学校である。本年度は、児童数484名、学級数23学級（うち特別支援学級6）である。校舎北側の約7000平方メートルの広々とした運動場と、南側にある「四季の森」の豊かな自然環境の中で、子どもたちはのびのびと活動している。

令和6年度も人とかかわり合いを重視し、さまざまな場面を通して学ぶために異年齢集団によるたてわり活動を充実させるとともに、地域社会や家庭との連携を深め、豊かな心の育成に努めてきた。

たてわり活動では、各学年を赤・青・黄の3色ブロックに分け、1・6年、2・4年、3・5年でペア学級をつくり、児童会活動において、積極的に異学年交流を行っている。4月の顔合わせの交流会に始まり、日常の活動や遊びを通して交流を深め、認め合ったり、世話をしたりすることを通して、自己肯定感、自己有用感を高めている。

また、「ひびく歌声」は全校で取り組むめあての一つであり、年間を通して練習に取り組んでいる。歌を通して全校での一体感を目指している。

米作りの体験や伝統文化を学ぶ活動など、地域からの協力を支えられながら、子どもたちは学習を進め

ている。とりわけ保護者による読み聞かせボランティア「ラビット」には、朝の読み聞かせの他にも、工作教室の指導や大型紙芝居の上演、図書館の飾り付けなど、子どもたちの豊かな心を育むために積極的に協力してもらっている。

学習面では、「学び合い」を意識し、わかることで自尊感情を育て、仲間と関わり合う中で認め合うことの大切さに気付くように働きかけている。また、令和7年度は「課題解決に向かい変容していく児童の姿を目指す授業づくり～聞く・話す活動を軸とした学び合う活動を通して～」をテーマに、現職教育をすすめている。



＜ブロック交流会＞



＜工作教室＞



＜しめ縄作り＞

岩倉市立岩倉中学校



創 立 昭和22年4月
郵便番号 482-0036
所 在 地 岩倉市西市町竹之宮24番地
電話番号 (0587) 37-1208
F A X (0587) 37-9516
U R L <https://iwakura.schoolweb.ne.jp/2320029>
E-Mail iwakura-j@iwakura.ed.jp

1 教育目標ならびに重点目標（岩倉中学校ビジョン）

(1) 校訓

「豊かな心」「たしかな学力」「たくましい体力・気力」

(2) めざす生徒像

- ・ あたりまえのことに心を込めて取り組み、自ら考動する生徒
- ・ 互いに認め合い、多様な人々とともに協働する生徒
- ・ 共同体（学級・学校・地域社会）の変革に自ら関与し、未来を創造する生徒

(3) 教育目標

「自ら考動、ともに協働、そして未来を創造する岩中生」

(4) 経営方針と重点努力目標

- ① 協働の喜びや自己実現の喜びにあふれた魅力ある学校づくりの推進
- ② 誰もが安心して過ごすことができる学校づくりの推進
- ③ 教員が笑顔になり、その先にいる子どもたちも笑顔になれる学校における働き方改革の推進
- ④ 学校と地域と一体となって子どもたちを育む、地域とともにある学校づくりの推進

(5) 岩倉中学校ビジョン（3年間を見据えた成長戦略）

令和7年度 岩倉中学校ビジョン(3年間を見据えた成長戦略)

	HOP（1年生）	STEP（2年生）	JUMP（3年生）
	誰にでもできるあたりまえのことを誰にも真似できないほど非凡に徹底する(ABCDの原則)＋感謝		
あたりまえのレベルアップ	常が大事 みんなでそろえる ☐ ものや服装をそろえる(整理・整頓) ☐ 時間をそろえる(2分前着席) ☐ あいさつや礼儀をそろえる	自分のために ☐ もてる力を出し切る ☐ 誰の仕事でもないことを自分の仕事にする ☐ 過去と今の自分を比べ、成長を自覚する	誰かのために ☐ あたりまえのことにも感謝する ☐ 感謝の気持ちを表し、ブラストークで語り合う ☐ 人を喜ばせたり、人のために活動したりする
	自問清掃 がまん・はっけん清掃(自分の力で仕事を見つける) ☐ しゃべらない、人のじゃまをしない ☐ 仕事を見つけて清掃する ☐ 一見きれいなところからさらに見つける	しんせつ清掃(力を合わせて気働きをする) ☐ 人のがんばっているところを見つける ☐ 言葉ではなく行動で協力する ☐ 友人の気持ちを考え心つながり清掃を目指す	かんしゃ清掃(自分の心に問いかける) ☐ 何故するのか自問しながら清掃する ☐ 感謝の気持ちを感じながら清掃する ☐ 自問の習慣を清掃以外に広げる
	主体的・対話的で深い学びの実現とカリキュラム・マネジメントの推進		
学びの自主化	学ぶ力の育成 学習方法を習得する ☐ 相づちを打ち、最後まで聴く ☐ 各単元で身に付けられる力を共有する ☐ 学んだことを振り返り自覚する	学習方法を活用する ☐ メモを取りながら、考えを受け止める ☐ 見方・考え方を意識した学びをする ☐ 学び方を振り返りでアップデートする	主体的に学びを深める ☐ 相手と自分の考えを比較する ☐ 理想の学び方を授業の進度に合わせて学ぶ ☐ 自分自身の変化に気付く
	道徳性 心を耕す ☐ 全ての生徒が気持ちを表出する ☐ 建前論ではなく本音が言える	考え議論する ☐ 多様な子どもの価値観が表出する ☐ より深い理解や価値観の変化が生じる	自らを高める ☐ 自らの生き方に日常的に課題や目標をもてる ☐ 他者と共存し、自立できる
	自分たちで課題意識をもち、自分たちで解決しようとする自己と集団の育成		
自治的活動の活性化	集団づくり 安定的集団 ☐ 集団のルールが定着している ☐ 互いの個性を認め合っている	親和的集団 ☐ 規則正しい行動が温和な雰囲気で開催する ☐ 自他の成長のために協力できる	自治的集団 ☐ 集団のルールが生徒に内在化している ☐ 自分の理想を追求したいと思える
	生徒会 意識を高める ☐ 各種キャンペーンが繰り返され、徹底される ☐ 自分たちで振り返り、呼びかける	当事者意識をもつ ☐ 必要な啓発活動が自主的に計画される ☐ 個々の役割を自覚した取組が展開される	社会へ参画する ☐ 社会的な活動に参画する ☐ 岩中からあたりまえ・感謝を発信する

2 本校の特色

本校は、生徒数757人、学級数27学級（うち特別支援学級6）の大規模校である。交通の便も大変よく、名古屋市ベッドタウンとしてマンションが林立する市の中心部に位置している。

地域の学校教育に対する関心は高く、地域の大きな付託を受け、校訓「豊かな心」「確かな学力」「たくましい体力・気力」を柱に、協働の喜びや自己実現の喜びにあふれた魅力ある学校づくりを目指し、日々の教育実践に取り組んでいる。

豊かな心を育てるために、道徳・自問清掃・各種講演会等を通して、社会モラルや規範意識の向上を図るとともに、従来からの働く人に学ぶ会や職場体験学習、上級学校等説明会など、キャリア教育の充実に努めている。



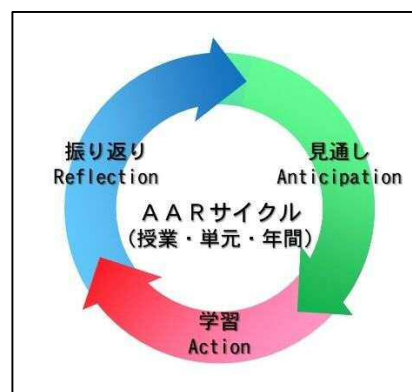
＜自問清掃の様子＞

現職教育の研究主題を「学びひたる」と設定した。「学びひたる」の定義は、「学習対象や活動に、我を忘れて夢中になって取り組んでいる状態」と定めている。本年度は、重点目標を「AARサイクルを取り入れた授業サイクル」「生徒が学びたくなる学習課題づくり」「仲間と協働できる環境づくり」「生徒参画による授業づくり」の4つを設定し、「学びひたる」状態を生み出す授業を考え、生徒が主体的に学びに関与し、探究や対話を通じて学びを深める授業づくりに取り組んでいく。生徒が学びに夢中になり、自ら知識をつなげ、新しい発見を楽しむ環境をつくり、生徒を育てていきたい。

また、ICT機器の環境整備や新しい活用方法の研究の場、教師同士の授業公開、研究協議等、力量を高める機会を充実させている。その他、たくましい体力・気力を育むために、部活動や体育的行事等を通して、あたりまえの日常に感謝する姿勢や自己肯定感を培い、豊かな人間性・社会性の育成に努めている。さらに、道徳・学活の授業を通して、命の大切さを実感し、自他共に大切にする思いやりの心を育てる指導の充実を心がけている。また、日々の校内生活を主体的に活動するだけでなく、体験学習・地域体験・ボランティア活動の充実、子どもが生きる学校行事や生徒会活動等、特色のある教育活動を展開している。そして、岩倉中学校ビジョンを掲げ、3年間を見据え、目標実現のため進化し続ける学校を目指し教育活動に取り組んでいる。



＜現職教育重点目標＞



＜AARサイクル＞



岩倉市立南部中学校

創 立 昭和52年4月

郵便番号 482-0003

所 在 地 岩倉市曾野町江毛1番地

電話番号 (0587) 66-3181

F A X (0587) 37-9517

U R L <http://www.iwakura.ed.jp/iwakurananbu-j>

E-Mail iwakurananbu-j@iwakura.ed.jp

1 教育目標

- 【実力】自ら学び、実力を身につけよう。
【誠実】誠実でたくましく、励まし合って進もう。
【健康】健康で明るい人になろう。

2 経営方針

目指す学校像 <開かれ、つながり、愛される学校>

- ① 誰もが安心できる居場所としての学校であるために、一人一人の生徒を愛することを通して、生徒から愛される学校を目指す。
- ② 歌・花・ボランティアを柱にした生徒会活動や有志活動を充実させる。
- ③ 地域の行事への参加やボランティア活動等を通して、地域とともに生きる姿勢を育み、地域の一員としての意識を涵養する。
- ④ 地域人材を大いに活用し、潤いのある落ちついた学校環境づくりを推進する。
- ⑤ ICT 機器への理解を深め、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、個別最適化された創造性を育む教育の実現を目指す。

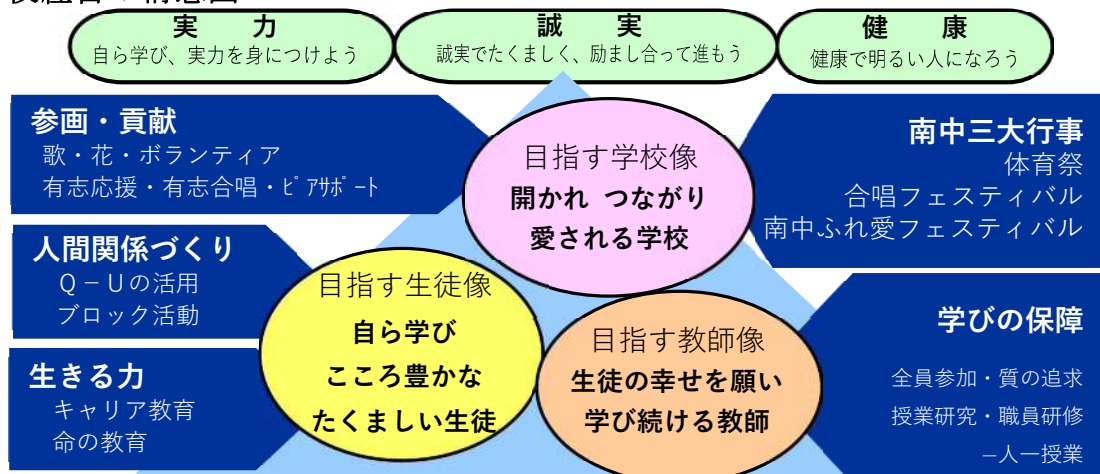
目指す生徒像 <自ら学び、こころ豊かなたくましい生徒><楽しく仲良く>

- ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた取組を進め、よりよい社会の形成者にふさわしい資質・能力を育てる。
- ② 他を思いやる心を育み、温かな人間関係を築こうとする姿勢を育む。
- ③ 「学校生活をよりよくする」意識をもち、生徒自らが学校生活を主体的・自治的に見つめ直そうとする姿勢を育む。

目指す教師像 <生徒の幸せを願い、学び続ける教師—生徒ファーストの職員室—><楽しく仲良く>

- ① 全員参加と質の高い学びを両立させ、新しい知をひらく授業を目指して、職員研修や授業研究を充実させる。
- ② 常に志と向上心をもち、互いに学び合い、高め合う職員集団を目指す。
- ③ 配慮を要する生徒が、学年の一員であることを認識し、学級担任と担当者の連携を常に行い、生徒一人一人の状況を職員全員が共通に理解するよう心がける。
- ④ 問題を抱える生徒について、情報共有を心がけ、専門機関・公的機関との連携も図りながら生徒を温かく見守るチームの構築に心がける。
- ⑤ 教職員が安心して職務に向き合える環境づくりを目指し、多忙化の解消をねらいとした業務の効率化・業務内容の見直しを推進し、一人一人が充実した生活を送れるよう努める。

3 学校経営の構想図



4 本校の特色

岩倉中学校の生徒数増加に伴い、昭和52年4月に岩倉市立南部中学校として開校した。階段状の音楽室、ポーチ付き脱履場、ガラス張りの渡り廊下、ベンチを配した中庭等、随所に明るい雰囲気を醸し出す工夫がなされている。翌年3月には、屋内運動場を竣工、第1回卒業式を新装の屋内運動場で挙行了。開校10周年を迎えた昭和61年9月には記念事業実行委員会が推進母体となり、「洋鐘」「学校沿革史額」が寄贈され「開校10周年記念誌」を発刊した。

平成2年度から3年間、愛知県教育委員会より小中学校生徒指導推進事業実施地域の指定を受け、「自立的な生活態度を育成する生徒指導」を課題とし、PTA・地域の人々との協力体制を図って成果を上げた。

平成6年度からは3年間「特色ある学校教育活動」として市より研究委嘱を受け、「歌・花・ボランティア」の3本柱による学校づくりに取り組み、本校を象徴するキーワードとして現在もしっかりと根付いている。



＜新入生を歓迎する有志応援団＞

平成12年度からは、「総合的な学習の時間」の在り方についての研究委嘱を受け、14年度の学習指導要領実施に向けて実践に取り組んだ。平成13年度からは、曾野小学校、岩倉東小学校とともに、文部科学省（3年間）及び丹波地方教育事務協議会（2年間）より「教育総合推進地域事業」の研究委嘱を受け、地域連携を核とした学校づくりの研究に取り組んだ。

平成18年11月には、「創立30周年記念集会」を挙行し、「創立30周年記念誌」を発刊した。

平成20年度からは、「夢を語る生徒の育成」をテーマとしてキャリアガイダンスを中心に据えた豊かな人間関係づくり、「学び合い」のある授業づくりの研究に取り組んだ。

平成28年度には開校40年目を迎え、「開かれ、つながり、愛される学校」づくりに向けて教育活動に取り組むと同時に、岩倉市教育委員会（3年間）、丹波地方教育事務協議会（2年間）より委嘱を受け、「知をひらく」をテーマに研究を進めた。全員参加と探究・協働・創造を通した深い思考、質の高い学びをつくり出すことを目指し、今後も取組を続けていく。

平成29年度末に前市長片岡恵一氏から寄贈された生徒が描いた「アート絵」は、3階渡り廊下をスタンドグラス風に彩り、雰囲気を明るくしている。

令和元年9月には普通教室・特別教室にエアコンが設置され、快適な環境の中で学習を進めることが可能となった。また、同年度には教師用、令和3年度には全生徒用タブレット端末が導入され、



＜タブレットを利用した生徒総会＞

生徒の主体的な学びを進める一助となっている。

令和2年3月から3か月間、新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休業を行った。

令和5年6月より本館の給排水・衛生設備等の改修工事が行われ、生活環境を改善している。

令和6年4月、新しくデザインされた制服に身を包み1年生が入学した。2年間に渡って岩倉市内の小中学生の代表が意見交換し、思いが形となった制服で、気持ちを新たに学習や生活を送っている。また、7月には南館給排水・衛生設備等の改修工事が行われ、生活環境を改善している。

令和7年度には、体育館と武道場のエアコン設置工事が進められ、熱中症のリスクも軽減されて、生徒たちも快適な空間で活動することができるようになった。

【メモ】

小中学校に関する資料・統計

岩倉市小中学校長一覧

(令和7年4月1日現在)

校 名	氏 名
岩倉北小学校	佐藤 振一郎
岩倉南小学校	宮崎 健治
岩倉東小学校	横山 まゆみ
五条川小学校	渡辺 まゆみ
曾野小学校	川田 紀子
岩倉中学校	櫻井 智
南部中学校	大藪 かおり

小中学校の沿革

岩倉北小学校

明治 6 年 9 月	義校岩倉学校創立
昭和 46 年 12 月	市制施行に伴い、岩倉市立岩倉北小学校と改称
昭和 47 年 6 月	本館 6 教室増築工事竣工
昭和 49 年 4 月	新館 4 教室増築工事起工（8 月竣工）
昭和 51 年 4 月	五条川小学校開設に伴い児童一部移籍（515 名）
昭和 54 年 4 月	愛知県教育委員会から特殊教育研究指定を受ける
昭和 55 年 11 月	特殊教育研究発表会開催
昭和 56 年 4 月	曾野小学校開設に伴い児童一部移籍（440 名）
昭和 63 年 4 月	愛知県教育委員会・岩倉市教育委員会から「児童・生徒の健全育成推進事業」の指定を受ける（2 年間）
平成 元 年 9 月	北館大規模改造工事竣工
平成 2 年 8 月	体育館改修工事竣工
平成 3 年 4 月	愛知県社会福祉協力校の委嘱を受ける
平成 5 年 4 月	愛知県教育委員会・丹波地方教育事務協議会から「学校体育」の研究指定を受ける（2 年間）
平成 5 年 10 月	創立 120 周年記念式典を行い、校訓碑を建立する
平成 6 年 1 月	愛知県教育委員会より「体力づくり優良校」表彰を受ける
平成 6 年 4 月	愛知県教育委員会より「さわやかスクール推進事業」の研究委嘱を受ける（2 年間）
平成 6 年 8 月	本館大規模改修工事竣工
平成 6 年 10 月	学校体育研究発表会開催
平成 7 年 11 月	才能開発教育実践賞の表彰を受ける
平成 8 年 9 月	ボランティア活動県知事表彰を受ける
平成 9 年 11 月	全国学校保健体育優良校の表彰を受ける
平成 11 年 8 月	中庭西側にビオトープ完成（PTA の寄付）
平成 14 年 4 月	愛知県教育委員会より「楽しい子ども食育推進事業」の研究委嘱を受ける
平成 16 年 4 月	愛知県教育委員会より「子どもと親の相談員設置事業」の研究委嘱を受ける
平成 19 年 2 月	AED 設置（保健室前廊下）→平成 30 年度に 6 年昇降口前に移動
平成 20 年 8 月	本館耐震補強工事竣工
平成 21 年 9 月	交通安全功労者等で学校表彰を受ける
平成 21 年 10 月	愛知県学校保健会より「健康推進学校」入選を受賞
平成 22 年 2 月	デジタルテレビ・アンテナ設置工事
平成 23 年 3 月	地下貯留施設導水管設置工事及び北館西教室整備工事竣工
平成 23 年 8 月	武道館・木造校舎解体
平成 23 年 10 月	北館耐震補強工事竣工
平成 24 年 3 月	地下貯留施設設置工事竣工
平成 25 年 4 月	岩倉市教育委員会から「全領域・全教科」の研究委嘱を受ける（3 年間）
平成 26 年 4 月	丹波地方教育事務協議会から「全領域・全教科」の研究委嘱を受ける（2 年間）
平成 27 年 10 月	丹波地方教育事務協議会研究委嘱にかかわる研究発表会実施
平成 28 年 9 月	北館給排水・衛生設備等改修工事竣工
平成 29 年 10 月	本館給排水・衛生設備等改修工事竣工
平成 30 年 3 月	「アートな学校づくり作品」壁画を玄関アプローチに設置
平成 31 年 1 月	「第 12 回キャリア教育優良教育委員会、学校及び PTA 団体等文部科学大臣表彰」受賞
平成 31 年 3 月	公共下水道接続及び災害用マンホールトイレ設置工事竣工
令和 元 年 9 月	普通教室・特別教室エアコン設置工事竣工
令和 2 年 3 月～5 月	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため臨時休業
令和 3 年 2 月	1 人 1 台タブレット端末の配置、Wi-Fi 環境整備
令和 3 年 3 月	屋内運動場等複合施設の建設に伴うプール取壊し工事竣工
令和 4 年 4 月	屋内運動場等複合施設竣工式・市立体育館メモリアル事業
令和 5 年 5 月	屋内運動場等複合施設の東側に「ひだまりひろば」完成
令和 6 年 4 月	学校運営協議会を設置
令和 7 年 3 月	全照明 LED 化

令和 7 年10 月 屋内運動場空調施設工事竣工

岩倉南小学校

明治 6 年 11 月	憲道学校創立
昭和 46 年 12 月	市制施行に伴い、岩倉市立岩倉南小学校と改称
昭和 48 年 7 月	管理棟および特別教室竣工
昭和 52 年 5 月	鉄筋 3 階建校舎 6 教室竣工（西館）
昭和 55 年 3 月	鉄筋 3 階建校舎 6 教室竣工（南館）
昭和 56 年 6 月	曾野小学校新設・分離、通学区域変更
昭和 58 年 3 月	第 2 運動場竣工、本館教室間仕切改修工事竣工
昭和 60 年 12 月	大プール修繕工事竣工
平成 2 年 8 月	屋内運動場改修工事竣工
平成 3 年 8 月	西館教室床等改修工事竣工
平成 4 年 8 月	本館大規模改修工事竣工
平成 6 年 2 月	東海三県学校図書館奨励賞受賞
平成 6 年 4 月	愛知県教育委員会より研究委嘱（豊かな心を育てる活動推進事業）
平成 8 年 2 月	東海三県学校図書館奨励賞、部門優秀賞受賞
平成 8 年 8 月	空調設備設置（校長室・職員室・保健室）
平成 9 年 11 月	愛知県健康推進学校 入選、プール改修工事竣工・温水シャワー設置
平成 10 年 8 月	体育館耐震工事竣工
平成 11 年 10 月	コンピュータ教室設置
平成 14 年 9 月	西館東側壁画設置
平成 15 年 9 月	空調設置工事竣工（図書館・ことばの教室）、運動場東側拡張工事竣工
平成 17 年 3 月	玄関等スロープ設置、階段手すり取り付け工事竣工
平成 17 年 10 月	本館ひさし・体育館通路改修工事竣工 「ほっとパトロール」開始
平成 17 年 10 月	全日本特別支援教育研究連盟全国大会愛知大会授業公開、分科会
平成 17 年 11 月	愛知県健康推進学校 特選校受賞
平成 18 年 8 月	普通教室(特別教室)へのコンピュータ設置並びに LAN 工事竣工
平成 19 年 7 月	教室に扇風機設置
平成 19 年 10 月	愛知県健康推進学校 特別優秀校受賞
平成 20 年 9 月	P T A スクール・ガード 開始
平成 21 年 2 月	文部科学省健康教育推進学校 優秀校受賞、学びの池改修工事竣工
平成 22 年 2 月	東グラウンド雨水貯留槽埋設工事竣工
平成 22 年 10 月	東グラウンド芝生化作業、全校舎 耐震化工事及び塗装工事竣工
平成 23 年 4 月	丹葉地方教育事務協議会・岩倉市教育委員会より研究委嘱（全領域）
平成 24 年 10 月	研究発表会開催（研究主題：「つなぎ合う喜びを感じる南っ子」）
平成 26 年 3 月	大型複合遊具の老朽化による撤去、新たな複合遊具の設置
平成 28 年 3 月	屋上防水工事、プールサイド改修工事竣工
平成 28 年 4 月	放課後児童クラブが校内（南館 1 階）へ移設
平成 28 年 8 月	保健室にシャワー室設置
平成 29 年 3 月	西館東側壁画修繕、特別支援学級教室パーテーション取付工事竣工
平成 30 年 3 月	「アートな学校づくり作品」壁画を南っ子広場に設置
平成 31 年 3 月	屋外体育倉庫の扉絵改修
令和 元年 9 月	普通教室・特別教室エアコン設置工事竣工
令和 2 年 3 月～5 月	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため臨時休業
令和 2 年 5 月	名古屋法務局一宮支局より「人権の花」運動実施校の委嘱
令和 2 年 5 月	本館大規模改修工事竣工（教室、廊下、トイレ等、ポンプ室新設）
令和 3 年 2 月	1 人 1 台タブレット端末の配置、Wi-Fi 環境整備
令和 4 年 3 月	体育館の校歌額の装丁、農機具庫壁画制作
令和 5 年 3 月	南館西館 2 階渡り廊下のガラス絵制作
令和 6 年 1 月	創立 150 周年記念イベント開催
令和 6 年 4 月	通級指導教室開設
令和 6 年 4 月	学校運営協議会設置

令和7年	2月	優良PTA文部科学大臣表彰
令和7年	3月	全照明LED化
令和7年	9月	屋内運動場空調設備工事竣工

岩倉東小学校

昭和41年4月	岩倉団地新生により岩倉町立岩倉東小学校として開校
昭和44年11月	国語科（作文指導）研究発表（県科学教育センター委嘱）
昭和45年4月	校歌制定
昭和46年12月	市制施行に伴い、岩倉市立岩倉東小学校と改称
昭和52年11月	図画工作科研究発表（丹葉地方教育事務協議会研究委嘱）
平成2年10月	北館大規模改造工事完了（多目的ホール・図書館等）
平成4年3月	運動場通路舗装工事完了
平成5年8月	南館大規模改造工事完了
平成7年4月	愛知県社会福祉協議会社会福祉協力校委嘱
平成7年9月	開校30周年記念校歌碑設置
平成8年4月	文部省スクールカウンセラー活用調査研究委託（2年間）
平成8年7月	空調設備工事（校長室・職員室・保健室）
平成11年10月	コンピュータ教室設置
平成12年8月	全トイレに洋式便器及び障害者用手すり設置・北館西階段及び南館全階段に手すり設置
平成13年4月	文部科学省教育総合推進地域事業研究委嘱（3年間）
平成14年3月	体育館改築工事完了
平成14年10月	教育総合推進地域事業研究発表
平成16年3月	文部科学省教育総合推進地域事業研究終了、まとめ
平成17年3月	来賓玄関スロープ設置、校舎水道配管工事完了・北館階段手すり補修
平成17年10月	スクールガードリーダーの防犯パトロール開始
平成18年4月	愛知県教育委員会より、心をむすぶ学校づくり推進事業研究委嘱
平成18年4月	愛知県教育委員会より、学校教育研究（学校評価）委嘱
平成19年2月	AED設置（保健室前廊下） 6月 扇風機設置工事
平成20年7月	南館耐震補強工事・南館屋上防水工事
平成23年1月	北館屋上防水工事 南館3階教室アスベスト封じ込め工事
平成23年7月	北館耐震補強工事・北館トイレ改修工事
平成23年11月	正面玄関に校章・学校名設置
平成24年9月	交通安全優良校として表彰
平成25年2月	第13回環境美化教育優良校として表彰
平成25年6月	FBC春花壇優良賞とFBC春地域花壇優秀賞を受賞
平成26年2月	プレスクール（外国人児童学校生活体験）開始
平成27年10月	創立50周年式典
平成28年4月	放課後児童クラブが校内へ移設
平成29年4月	夢クラブ開始
平成30年3月	「アートな学校づくり作品」ステンドグラスをふれあいホールに設置
令和元年8月	普通教室・校長室・職員室一部空調設備設置
令和2年4月	丹葉地方教育事務協議会より、学校教育研究「世界にはばたく東っ子」委嘱
令和2年4月	愛知県金融広報委員会より、金銭教育研究委嘱（2年間）
令和2年3月～5月	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため臨時休業
令和2年10月	北・南館手洗い場に温水器設置工事
令和3年2月	「世界にはばたく東っ子」授業公開の規模を縮小して実施
令和3年2月	1人1台タブレット端末の配置、Wi-Fi環境整備
令和3年4月	特別支援学級肢体不自由学級増設
令和3年4月	キャリアスクールプロジェクト「つなぐ」事業委嘱
令和3年11月	「世界にはばたく東っ子」研究発表会
令和4年3月	6年生卒業壁画（体育倉庫扉）制作
令和5年1月	運動場バスケットゴール受贈
令和5年3月	南館屋上防水等改修工事着工
令和5年11月	校舎西側壁画設置
令和6年1月	第72回愛知県学校給食研究大会にて優良学校として表彰

令和7年3月	全照明LED化
令和7年4月	学校運営協議会 設置
令和7年7月	日本教育公務員弘済会より、学校教育研究「誰もが夢中になる授業の創造」委嘱
令和7年9月	屋内運動場空調施設工事竣工

五条川小学校

昭和 51 年 4 月	岩倉市立五条川小学校開校、校章制定
昭和 52 年 3 月	屋内運動場竣工、校旗樹立、校歌制定
昭和 54 年 4 月	特殊学級「のぞみ」開設
昭和 55 年 11 月	愛知県健康優良学校・大規模校“特選”受賞
昭和 58 年 2 月	東海三県学校図書館“奨励賞”受賞
昭和 59 年 4 月	文部省指定“体力づくり”推進校（3 年間）
昭和 60 年 10 月	開校 10 周年記念“校訓碑”完工
昭和 61 年 7 月	ジャンボアスレチック 3 年間にわたる工事竣工
昭和 61 年 10 月	愛知県学校体育研究連合会表彰
昭和 61 年 10 月	文部省指定・事務協委嘱“体力づくり”研究発表会
昭和 62 年 4 月	県教委委嘱、「豊かな心を育てる活動推進事業」（2 年間）
昭和 62 年 10 月	保健体育優良校として文部省表彰、小鳥小屋新設
昭和 63 年 1 月	体力づくり優良校として県知事・県教委表彰
平成 2 年 4 月	「愛知県社会福祉協力校」委嘱
平成 2 年 10 月	老人クラブ参加による「五条川まつり」開催、農機具庫新設
平成 7 年 9 月	愛知県知事より、ボランティア活動者表彰を受ける
平成 8 年 6 月	愛知県知事より環境保全功労者表彰を受ける
平成 8 年 11 月	県歯科医師会より愛知県学校歯科保健優良校表彰を受ける
平成 8 年 11 月	日本学校歯科医師会より全日本よい歯の学校表彰を受ける
平成 9 年 4 月	丹波地方教育事務協議会より健康教育の研究委嘱を受ける
平成 10 年 11 月	文部省指定歯・口の健康づくり推進指定校として研究発表会開催
平成 11 年 10 月	コンピュータ教室設置
平成 12 年 9 月	体育館耐震補強内外塗装工事竣工
平成 14 年 6 月	フッ化物洗口開始（1 年生）
平成 17 年 8 月	創立 30 周年記念事業で運動会の歌「がんばれ五条川っ子」完成
平成 17 年 11 月	創立 30 周年記念集会開催
平成 18 年 2 月	正門にカメラ付きインターフォン設置
平成 18 年 8 月	校内 LAN 設置、コンピュータ室整備
平成 19 年 4 月	県教委委嘱『こども食育推進事業「こども食育発信校」』
平成 21 年 3 月	プール大規模改修工事竣工
平成 21 年 10 月	愛知県学校給食優良校審査を受ける
平成 22 年 2 月	ジャンボアスレチック撤去、地上デジタルテレビ・アンテナ設置工事
平成 22 年 11 月	文部科学大臣学校給食表彰を受ける
平成 23 年 10 月	校舎耐震工事・トイレ改修工事竣工
平成 24 年 9 月	大型遊具設置工事竣工、コンピュータ室パソコン入替
平成 27 年 3 月	卒業記念として体育館南出入口の扉絵制作
平成 28 年 7 月	第 51 回交通安全子ども自転車愛知県大会で第 6 位に入賞
平成 29 年 3 月	卒業記念として屋外体育倉庫の壁画制作
平成 30 年 3 月	「アートな学校づくり作品」ステンドグラスを昇降口上部に設置
平成 30 年 3 月	校舎東側に五条川小学校放課後児童クラブ施設竣工
平成 31 年 4 月	五条川交通少年団の活動に対して愛知県警より感謝状を受ける
令和 元年 9 月	普通教室・特別教室エアコン設置工事竣工
令和 2 年 3 月～5 月	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため臨時休業
令和 2 年 8 月	校内放送用調整卓更新
令和 3 年 2 月	1 人 1 台タブレット端末の配置、Wi-Fi 環境整備
令和 3 年 3 月	雨水貯留槽及び導水管設置工事竣工
令和 3 年 5 月	調整池工事完了に伴う樹木伐採箇所の植栽
令和 5 年 4 月	さくら教室開設
令和 5 年 11 月	グラウンド南側のスロープ設置

令和 6 年 4 月	学校運営協議会を設置
令和 6 年 5 月	地域学校協働活動において五条川小学校応援団設立
令和 7 年 3 月	全照明ＬＥＤ化
令和 7 年 9 月	屋内運動場空調施設工事竣工

曾野小学校

昭和 56 年 4 月	岩倉市立曾野小学校開校
昭和 56 年 6 月	新校舎入校 曾野小学校 P T A 発足
昭和 56 年 7 月	学校プール竣工
昭和 57 年 1 月	屋内運動場開館
昭和 57 年 2 月	校歌「曾野の風」制定、校旗樹立
昭和 60 年 5 月	校訓レリーフ設立（創立 5 周年）
昭和 60 年 11 月	四季の森完成
昭和 62 年 4 月	小中学校 P T A 連絡協議会研究委嘱
昭和 62 年 10 月	愛知県健康優良学校大規模校「特選」受賞
昭和 63 年 11 月	愛知県健康優良学校大規模校「優秀」受賞
平成 元年 11 月	愛知県健康優良学校大規模校「特別優秀」受賞
平成 2 年 10 月	創立 10 周年記念式典、校歌レリーフ設立
平成 2 年 11 月	愛知県代表健康優良学校として受賞
平成 3 年 1 月	体力づくり優良校として受賞
平成 4 年 3 月	観察池・生活科池完成
平成 4 年 4 月	愛知県社会福祉協力校の委嘱を受ける
平成 5 年 10 月	交通事故 5 年間無事故学校として受賞 温風暖房機 23 台設置
平成 7 年 11 月	防災備蓄倉庫設置
平成 8 年 8 月	空調設備設置（校長室・職員室・保健室）
平成 9 年 3 月	放送室スタジオ拡張
平成 9 年 6 月	プール温水シャワー設置
平成 11 年 10 月	コンピュータ教室設置
平成 12 年 11 月	創立 20 周年記念式典
平成 13 年 4 月	丹葉地方教育事務協議会より「教育総合推進地域事業」委嘱
平成 14 年 10 月	文部科学省指定・丹葉地方教育事務協議会委嘱「教育総合推進地域事業」研究発表会開催
平成 15 年 4 月	愛知県教育委員会より「学校と家庭を結ぶ道德教育推進事業」委嘱
平成 15 年 8 月	屋内運動場・校舎の耐震等改修工事竣工 空調設備設置（図書館）
平成 18 年 2 月	インターフォン設置（東門、プール管理室）
平成 19 年 2 月	A E D 設置（保健室前廊下）
平成 19 年 4 月	日本語指導教室開設
平成 19 年 7 月	教室に扇風機設置
平成 20 年 4 月	丹葉地方教育事務協議会・岩倉市教育委員会より研究委嘱を受ける 研究主題「つなぎ つながり 学び合う教室づくり」
平成 20 年 8 月	四季の森観察池改修工事竣工
平成 21 年 11 月	丹葉地方教育事務協議会・岩倉市教育委員会研究委嘱研究発表会開催
平成 22 年 9 月	体育館東壁面に大時計設置
平成 22 年 12 月	創立 30 周年のつどい
平成 23 年 3 月	放送室機器取替
平成 24 年 8 月	校舎内トイレすべてに洋式トイレ設置
平成 25 年 4 月	特別支援学級肢体不自由新設
平成 25 年 10 月	日本語指導の成果を認められ、第 28 回「教育奨励賞」努力賞を受賞
平成 27 年 3 月	体育館屋上太陽光発電設備設置
平成 27 年 8 月	複合遊具・鉄棒更新、保健室にシャワー設置、車いす用トイレ設置
平成 28 年 9 月	プールサイド改修工事竣工
平成 29 年 7 月	校舎耐震工事竣工
平成 30 年 10 月	愛知県健康推進学校優秀校として表彰
平成 31 年 4 月	特別支援学級病弱新設、肢体不自由廃級
令和 元年 9 月	普通教室・特別教室エアコン設置工事竣工 P C 室タブレット端末に更新
令和 元年 10 月	愛知県健康推進学校特別優秀校として表彰
令和 2 年 3 月～5 月	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため臨時休業
令和 2 年 10 月	全国学校保健（文部科学省）優秀校として表彰
令和 3 年 2 月	創立 40 周年記念式典（新型コロナウイルス感染症の影響により中止）
令和 3 年 2 月	1 人 1 台タブレット端末の配置、Wi-Fi 環境整備
令和 4 年 4 月	特別支援学級肢体不自由新設
令和 5 年 3 月	特別支援学級にパーテーション設置
令和 6 年 3 月	曾野小学校放課後児童クラブ完成
令和 6 年 4 月	子供の読書活動優秀実践校として文部科学大臣表彰

令和 7 年 3 月	全照明 L E D 化
令和 7 年 4 月	C S ルーム、ほっとルーム開設
令和 7 年 9 月	屋内運動場空調施設工事竣工

岩倉中学校

昭和 22 年 4 月	岩倉北小学の校舎を一部借用し、岩倉町立岩倉中学校開校
昭和 22 年 4 月	現在地に南舎竣工
昭和 36 年 2 月	校歌制定 作詞近藤一一、作曲田村範一
昭和 37 年 2 月	体育館兼講堂竣工
昭和 42 年 7 月	プール竣工
昭和 45 年 7 月	南館鉄筋コンクリート校舎竣工
昭和 46 年 12 月	市制施行に伴い、岩倉市立岩倉中学校と改称
昭和 46 年 12 月	文部省、愛知県教育委員会指定生徒指導研究発表会開催
昭和 51 年 3 月	学校安全優良校として学校安全会から表彰を受ける
昭和 59 年 2 月	東館鉄筋コンクリート校舎竣工
昭和 61 年 10 月	P T A 研究委嘱、尾張 P 連研究発表大会で成果を発表する
昭和 62 年 2 月	第 2 運動場（テニス、ソフト、バレー、バスケットコート）竣工
昭和 63 年 10 月	体育館大規模改修工事竣工、運動場フェンス改修工事竣工
平成 3 年 8 月	北館大規模改修工事竣工、東館コンピュータ室設置
平成 4 年 8 月	和泉中学校（福井県和泉村）と交流 11 月 普通教室にストーブ設置
平成 6 年 12 月	柔剣道場「弘道館」竣工
平成 7 年 8 月	南館大規模改修工事竣工
平成 9 年 11 月	創立 50 周年記念式典開催
平成 10 年 8 月	国旗掲揚塔ポール設置工事竣工 9 月 コンピュータ室改修工事竣工
平成 11 年 2 月	第 2 運動場への歩道橋「岩中サンブリッジ」設置工事竣工
平成 12 年 8 月	保健室、相談室、印刷室及びトイレ改修工事竣工
平成 13 年 12 月	学校北側フェンス・校門改修
平成 16 年 8 月	第 1・2 理科室改修工事竣工
平成 17 年 8 月	校内コンピュータ取替えと LAN 工事竣工
平成 18 年 3 月	体育館一部改修、A E D 設置（保健室前廊下）
平成 18 年 11 月	丹葉地方教育事務協議会・岩倉市教育委員会委嘱研究発表会開催
平成 20 年 3 月	プール改修工事竣工
平成 20 年 8 月	普通教室に扇風機設置
平成 21 年 11 月	北館・南館耐震補強工事竣工
平成 22 年 3 月	地デジアンテナ設置工事竣工、各教室に液晶モニター設置
平成 24 年 8 月	コンピュータ教室空調取替工事竣工
平成 25 年 10 月	公共下水道接続工事竣工
平成 25 年 11 月	公益財団法人日本交通管理技術協会より自転車通学安全モデル校に指定
平成 26 年 6 月	新モンゴル高等学校留学生受入開始
平成 27 年 5 月	読み聞かせボランティア「おはなしなんだし」開始
平成 27 年 8 月	弘道館天井修理工事竣工
平成 28 年 6 月	愛知県教育委員会委嘱キャリアコミュニティプロジェクト（中高連携）事業受託
平成 30 年 3 月	「アートな学校づくり作品」壁画を体育館東側外壁に設置
平成 30 年 12 月	南館給排水・衛生設備等改修工事竣工
令和 元年 9 月	普通教室・特別教室エアコン設置工事竣工
令和 元年 9 月	コンピュータ室全台タブレット端末に更新
令和 2 年 2 月	北館給排水・衛生設備等改修工事竣工
令和 2 年 2 月	一般財団法人全日本交通安全協会より交通安全教育の全国表彰
令和 2 年 3～5 月	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため臨時休業
令和 3 年 2 月	1 人 1 台タブレット端末の配置、Wi-Fi 環境整備
令和 3 年 5 月	プール（プール底面及びプールサイド床面張り替え）改修工事竣工
令和 4 年 2 月	東館各教室鍵シリンダー交換工事竣工
令和 4 年 4 月	通級指導教室（秋桜）開設
令和 5 年 8 月	校内・体育館放送設備改修工事竣工
令和 6 年 2 月	井水加圧ポンプ交換工事完了

令和 6 年 4 月	新制服（ブレザータイプ）導入
令和 6 年 4 月	コミュニティ・スクール発足
令和 6 年 4 月	校内教育支援センター開設
令和 6 年 8 月	校務用タブレットの導入
令和 7 年 3 月	全照明ＬＥＤ化
令和 7 年 9 月	屋内運動場空調施設工事竣工

南部中学校

昭和 52 年 4 月	岩倉市立南部中学校開校
昭和 52 年 7 月	プール完成
昭和 53 年 3 月	屋内運動場完成
昭和 53 年 11 月	校舎増築（南館普通教室 6 教室）
昭和 54 年 4 月	校歌「飛翔」制定
昭和 55 年 11 月	ナイター設備完成
昭和 59 年 12 月	校舎増築（南館普通教室 3 教室、視聴覚室 1 教室）
昭和 61 年 9 月	開校 10 周年記念「飛翔の鐘」設置
平成 2 ～ 3 年	愛知県教育委員会指定、小中学校生徒指導地域事業の推進
平成 3 年 8 月	コンピュータ教室設置、図書館移設
平成 4 年 12 月	普通教室暖房機設置
平成 5 年 12 月	柔・剣道場完成
平成 6 ～ 8 年	岩倉市教育委員会委嘱「特色ある教育活動」を推進
平成 6 ～10 年	愛知県社会福祉協力校として委嘱を受ける
平成 7 年 3 月	プール全面改修
平成 8 年 8 月	屋内運動場屋根全面改修
平成 10 年 8 月	トイレ、南館教室廊下床、運動場東フェンス、本館正面玄関改修工事
平成 11 年 1 月～2 月	屋内運動場照明改修工事・消火栓改修工事
平成 11 年 8 月	屋上防水・外壁改修工事
平成 12 年 7 月	屋内運動場床塗装工事
平成 13 ～15 年	文部科学省指定・丹葉地方教育事務協議会委嘱 教育総合推進地域事業を推進
平成 14 年 10 月	文部科学省指定・丹葉地方教育事務協議会委嘱 教育総合推進地域事業研究発表会
平成 15 年 2 月	グラウンド改修工事
平成 16 年 12 月	玄関スロープ設置工事
平成 17 年 8 月	校内 LAN 整備工事
平成 18 年 2 月	玄関・プールインタフォン設置工事
3 月	AED 設置(保健室前廊下)
平成 18 年 11 月	創立 30 周年記念事業（記念誌・沿革史額・記念集会）
平成 19 年 5 月	学校ホームページにブログ開設
平成 20 年 4 月	愛・地球博フレンドシップ事業参加
8 月	普通教室扇風機設置
平成 21 年 9 月	本館耐震工事
平成 22 年 10 月	体育館耐震工事
平成 23 年 11 月	南館本館玄関張り替え工事、南館耐震工事
平成 24 年 8 月	コンピュータ全台更新・本館特別教室扇風機設置
平成 25 年 8 月	南館基礎補強工事
平成 26 年 3 月	体育館更衣室補修工事
平成 26 年 12 月	柔剣道場吊り天井撤去工事
平成 27 年 12 月	テニスコート補修工事
平成 28 年 5 月	創立 40 年記念講演会（含：地区懇談会）
平成 28 ～30 年	学校教育研究委嘱事業（岩倉市教育委員会・丹葉地方教育事務協議会） 研究テーマ「知をひらく」
平成 29 年 6 月	学校教育研究委嘱事業に係る授業公開
平成 30 年 8 月	本館西脱履下駄箱改修工事
平成 30 年 10 月	学校教育研究委嘱事業（岩倉市教育委員会・丹葉地方教育事務協議会）研究発表会
令和 元年 7 月	教室・特別教室エアコン設置工事
令和 元年 9 月	コンピュータ室全台タブレットに更新
令和 2 年 3 月～5 月	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休業
令和 2 年 10 月	本館・南館給湯設備工事（新型コロナウイルス感染予防対策費）
令和 3 年 4 月	全生徒用タブレット使用開始
令和 6 年 2 月	給排水・衛生設備等改修工事(本館)竣工
令和 6 年 4 月	新制服（フレザ・タイプ）導入
11 月	給排水・衛生設備等改修工事(南館)竣工

令和7年	3月	全照明LED化
	6月	屋内運動場等空調設備設置工事

小中学校児童生徒・学級数

児童生徒数

令和7年5月1日現在

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	対前年比	内訳	
									普通	特別支援
岩倉北小学校	(8) 120	(6) 107	(4) 129	(4) 112	(4) 101	(4) 122	691	△ 9	661	30
岩倉南小学校	(5) 68	(1) 80	(4) 78	(8) 88	(4) 93	(1) 78	485	△ 10	462	23
岩倉東小学校	(4) 33	(1) 24	(4) 22	(3) 21	(4) 22	(0) 21	143	14	127	16
五条川小学校	(6) 62	(3) 72	(3) 90	(0) 67	(2) 96	(1) 68	455	△ 14	440	15
曾野小学校	(4) 62	(6) 83	(9) 87	(3) 87	(4) 76	(4) 89	484	△ 13	454	30
小学校 計	(27) 345	(17) 366	(24) 406	(18) 375	(18) 388	(10) 378	2,258	△ 32	2,144	114

岩倉中学校	(11) 253	(7) 250	(7) 254	/			757	15	732	25
南部中学校	(3) 95	(3) 134	(1) 123				352	△ 18	345	7
中学校 計	(14) 348	(10) 384	(8) 377				1,109	△ 3	1,077	32

小中学校 計	—	—	—	—	—	—	3,367	△ 35	3,221	146
--------	---	---	---	---	---	---	-------	------	-------	-----

学級数

(単位:学級)

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	普通計	特別支援	合計	対前年比
岩倉北小学校	4	3	4	4	3	4	22	7	29	0
岩倉南小学校	2	3	3	3	3	3	17	5	22	0
岩倉東小学校	1	1	1	1	1	1	6	4	10	0
五条川小学校	2	2	3	2	3	2	14	4	18	0
曾野小学校	2	3	3	3	3	3	17	6	23	△ 1
小学校 計	11	12	14	13	13	13	76	26	102	△ 1

岩倉中学校	7	7	7	/			21	6	27	2
南部中学校	3	4	4				11	3	14	0
中学校 計	10	11	11				32	9	41	2

小中学校 計	—	—	—	—	—	—	108	35	143	36
--------	---	---	---	---	---	---	-----	----	-----	----

※1 「児童生徒数」の表中、上段（ ）内は特別支援学級の内数を示す。

※2 小学校は35人学級、中学校は40人学級

※3 愛知県独自施策の少人数学級（35人）対象学年は中学校1年生

小中学校学級数の推移

(単位:人)

年度 学校名	平成 26	27	28	29	30	令和 元	2	3	4	5	6	7
岩倉北小学校	25	26	25	25	24	24	24	25	26	27	29	29
	△ 1	1	△ 1	0	△ 1	0	0	1	1	1	2	0
岩倉南小学校	18	17	18	17	19	20	20	20	22	23	22	22
	2	△ 1	1	△ 1	2	1	0	0	2	1	△ 1	0
岩倉東小学校	8	8	8	8	8	8	8	9	9	10	10	10
	△ 1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
五条川小学校	14	14	14	15	14	15	15	16	17	17	18	18
	0	0	0	1	△ 1	1	0	1	1	0	1	0
曾野小学校	23	23	23	22	23	22	22	22	23	23	24	23
	1	0	0	△ 1	1	△ 1	0	0	1	0	1	△ 1
計	88	88	88	87	88	89	89	92	97	92	103	102
	1	0	0	△ 1	1	1	0	3	5	△ 5	11	△ 1

年度 学校名	平成 26	27	28	29	30	令和 元	2	3	4	5	6	7
岩倉中学校	25	25	25	26	26	25	24	25	25	24	25	27
	0	0	0	1	0	0	△ 1	1	0	△ 1	1	2
南部中学校	15	13	13	13	13	15	15	15	12	12	14	14
	0	△ 2	0	0	0	1	0	0	△ 3	0	2	0
計	40	38	38	39	39	40	39	40	37	38	39	41
	0	△ 2	0	1	0	1	△ 1	1	△ 3	1	1	2

*基準日：5月1日

※1 下段数字は、対前年増減数

※2 学級数は、総学級数で表示

小中学校児童生徒数の推移

(単位:人)

年度 学校名	平成 26	27	28	29	30	令和 元	2	3	4	5	6	7
岩倉北小学校	803	790	761	731	723	709	707	692	686	704	700	691
	△ 1	△ 13	△ 29	△ 30	△ 8	△ 14	△ 2	△ 15	△ 6	18	△ 4	△ 9
岩倉南小学校	490	472	474	495	511	485	476	495	504	494	495	485
	25	△ 18	2	21	16	△ 26	△ 9	19	9	△ 10	1	△ 10
岩倉東小学校	162	156	143	149	146	145	147	123	124	135	129	143
	△ 20	△ 6	△ 13	6	△ 3	△ 1	2	△ 24	1	11	△ 6	14
五条川小学校	373	380	381	392	393	405	413	438	444	476	469	455
	△ 15	7	1	11	1	12	8	25	6	32	△ 7	△ 14
曾野小学校	632	613	625	620	640	598	584	552	547	531	497	484
	0	△ 19	12	△ 5	20	△ 42	△ 14	△ 32	△ 5	△ 16	△ 34	△ 13
計	2,460	2,411	2,384	2,387	2,413	2,342	2,327	2,300	2,305	2,340	2,290	2,258
	△ 11	△ 49	△ 27	3	26	△ 71	△ 15	△ 27	5	35	△ 50	△ 32

年度 学校名	平成 26	27	28	29	30	令和 元	2	3	4	5	6	7
岩倉中学校	831	800	796	807	808	791	786	790	758	747	742	757
	△ 9	△ 31	△ 4	11	1	△ 17	△ 5	4	△ 32	△ 11	△ 5	15
南部中学校	424	394	367	373	359	385	368	369	337	353	370	352
	△ 12	△ 30	△ 27	6	△ 14	26	△ 17	1	△ 32	16	17	△ 18
計	1,255	1,194	1,163	1,180	1,167	1,176	1,154	1,159	1,095	1,100	1,112	1,109
	△ 21	△ 70	△ 31	17	△ 13	9	△ 22	5	△ 64	5	12	△ 3

* 基準日 : 5月1日

※ 1 下段数字は、対前年増減数

※ 2 ピーク : 小学校 = 昭和56年度 (5,251人) 、中学校 = 昭和61年度 (2,385人)

児童生徒の体位の状況

(令和7年度)

区 分		身長 (cm)		体重 (kg)	
		男	女	男	女
小1	全国	116.7	115.8	21.4	21.0
	丹葉地区	116.0	114.0	20.7	20.2
	市	116.2	114.9	21.2	20.4
小2	全国	122.6	121.8	24.2	23.7
	丹葉地区	121.9	120.9	23.2	23.2
	市	122.1	120.9	24.1	23.5
小3	全国	128.5	127.7	27.6	26.9
	丹葉地区	127.7	126.7	26.0	26.0
	市	128.0	126.6	27.1	26.6
小4	全国	134.0	134.1	31.2	30.5
	丹葉地区	133.3	133.4	29.2	29.2
	市	133.7	133.8	31.2	30.6
小5	全国	139.7	141.1	35.2	35.0
	丹葉地区	134.0	140.0	33.8	33.8
	市	139.6	140.9	34.8	34.7
小6	全国	146.0	147.8	39.6	40.1
	丹葉地区	145.4	147.2	38.7	39.1
	市	145.6	147.2	39.3	39.4
中1	全国	154.0	152.3	45.7	44.5
	丹葉地区	153.1	151.7	43.8	43.6
	市	153.5	151.7	44.7	43.9
中2	全国	161.1	155.0	50.6	47.7
	丹葉地区	160.3	154.5	49.7	46.9
	市	160.8	154.5	51.3	47.7
中3	全国	166.1	156.4	55.0	49.9
	丹葉地区	165.4	156.0	54.4	48.9
	市	165.2	156.1	55.1	49.8

※令和6年度より全国平均・丹葉地区・市を記載。

日本スポーツ振興センター利用状況

学校管理下における負傷等に対する補償給付を行うため、日本スポーツ振興センターの災害共済に加入し、小中学校の児童生徒について掛金を負担する。

(単位：円、件)

区 分		令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
小 学 校	掛 金	2, 146, 980	2, 152, 535	2, 184, 380	2, 135, 870
	給付金	239, 691	173, 008	215, 835	202, 745
	延べ件数	102	93	71	79
中 学 校	掛 金	1, 081, 025	1, 020, 305	1, 024, 980	1, 035, 320
	給付金	243, 985	200, 246	448, 894	161, 866
	延べ件数	69	75	110	76
計	掛 金	3, 228, 005	3, 172, 840	3, 209, 360	3, 171, 190
	給付金	483, 676	373, 254	664, 729	364, 611
	延べ件数	171	168	181	155
一人当たりの 掛金		935 (全額市負担)	935 (全額市負担)	935 (全額市負担)	935 (全額市負担)

岩倉市教育振興基本計画推進委員会委員名簿

任期 令和7年4月1日～令和9年3月31日

区 分		氏 名	所 属
識見者	大学教授	土屋 武志	愛知教育大学
	大学教授	益川 浩一	岐阜大学 地域協学センター
小中学校 保護者代表者	小学校 PTA	西手 克也	岩倉北小学校 PTA
	中学校 PTA	樋口 希	南部中学校 PTA
小中学校 教員代表者	小学校長	佐藤 振一郎	岩倉北小学校
	中学校長	櫻井 智	岩倉中学校
	特別支援教育担当	湯浅 直子	岩倉南小学校
	日本語指導担当	加藤 洋子	岩倉中学校
	栄養教諭	河浦 菜摘	岩倉東小学校
	小中学校教員（音楽）	戸田 高嶺	岩倉中学校
	小中学校教員（スポーツ）	勝野 美希	南部中学校
各種団体 代表者	文化財保護委員会	関戸 祐一	文化財保護委員会
	文化協会	河村 和美	文化協会
	社会教育委員	内藤 和子	社会教育委員の会議
	図書館協議会	小杉 美智子	図書館協議会
	スポーツ協会	今井 秀明	スポーツ協会
	スポーツ少年団本部	木ノ本 みゆき	スポーツ少年団
	スポーツ推進委員	武藤 栄司	スポーツ推進委員
その他教育 委員会が必要 と認める者	幼稚園園長	町田 竜介	岩倉幼稚園

【メモ】

学校給食センター

学校給食センターの主要施策

1 給食等を通じた食育の推進

学校での食育活動や給食を通じて児童生徒への食育を推進するとともに、家庭における食育を促進し、子どもたちの心身の健全な発達に努め、生涯にわたる食への関心につなげます。

－具体的な取組内容－

- ・学校における食育の充実
- ・学校給食における地産地消の推進
- ・学校給食センター施設・設備等の計画的な更新
- ・安全でおいしい魅力ある学校給食の提供

給食施設の概要

学校給食センターは、昭和 44 年 9 月、共同調理場として市内全ての小中学校の学校給食調理を行うために開設しました。その後、増築や改修を繰り返してきましたが、施設が老朽化してきたため、新施設の建設に向けて建設基金の設置、基本構想及び基本計画の策定を経て、平成 28 年 8 月に現在の学校給食センターが完成しました。また、公募により愛称を「ゆめミール」とし、外壁には子どもたちの描いた絵を掲げました。2 階には、施設見学の受入れのため、調理場を見渡せる見学通路や、食育に関する展示を行う食育ホール、研修会議室を新たに設けました。新しく定めた岩倉市学校給食理念のもと、民間活力を活用するため調理・配送等業務を民間事業者に委託し、平成 28 年 9 月から調理を開始しました。令和元年 8 月からは配膳業務、令和 6 年 8 月からは検収業務も委託に加えました。



所在地	岩倉市大地町下塚田 2 番地 1
開設年月日	昭和 44 年 9 月 4 日
移転年月日	平成 28 年 8 月 2 日
調理能力	4,500 食
対象校	・小学校 5 校 ・中学校 2 校
給食費	・小学校 1 食当たり 300 円 ・中学校 1 食当たり 330 円
配送車両	3 台
施設規模	・敷地面積 5,493.98 m ² ・建物延面積 2,455.96 m ²
運営形態	給食調理、配送等業務委託

事業概要

1 給食数の推移（教職員を含む）

（単位：食）

年 度	小 学 校	中 学 校	計
令和 3	2,446	1,231	3,677
4	2,450	1,159	3,609
5	2,484	1,156	3,640
6	2,412	1,170	3,582
7	2,388	1,166	3,554

* 基準日：5月1日

2 月別主食内訳回数（令和6年度）

（単位：回）

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
米飯	11	16	14	10		14	16	15	11	14	12	11	144
パン	2	3	4	1		2	4	2	3	1	4	2	28
めん	1	2	2	2		2	2	2	1	2	2	1	19
合 計	14	21	20	13		18	22	19	15	17	18	14	191

3 食指導

栄養教諭が、全小中学校の給食時間に小学校1年生から5年生及び中学校1年生、3年生の全クラスの児童生徒に対して実施する学年に応じた食指導を、年86回実施しました。

毎月配付している学校給食予定献立表の裏面に献立や旬の食材の説明などをまとめた「ひとことメモ」を記載し、児童生徒や保護者に対して、食に関する知識等の周知・啓発を図りました。

また、全国学校給食週間中には、献立に合わせた「ひとことメモ」の詳細な説明とそれに関連したクイズ形式の資料を各学校に配付し、給食委員会や給食時の校内放送、学校内掲示等で活用できるようにしました。

4 ふれあい給食会

学校給食の意義、役割等について、児童生徒や教職員、地域住民等の理解と関心を高めることを目的に、11月19日に岩倉南小学校で「ふれあい給食会」を開催しました。

5 ゆめミールの特別メニュー

令和6年度の「ゆめミールの特別メニュー」は、味付けのりパッケージイラストと成長期に必要な栄養素であるカルシウムがたくさんとれる「岩倉市のカルシウムたっぷりメニュー」のアイデアを児童生徒から募集したところ、味付けのりのパッケージイラスト330件、メニューのアイデア226件の応募がありました。12月2日に児童生徒が描いた8種類のイラスト入りパッケージの味付けのりを、12月の6日間で児童生徒のアイデアを取り入れた岩倉市ならではの6品のメニューを提供しました。

ゆめミールの特別メニュー



(献立) ごはん、牛乳、いわコロ、キャベツとブロッコリーのおかかあえ、
のっぺい汁、味付けのり



全8種のイラスト入りパッケージの味付けのり

6 食物アレルギー対応

(1)「学校における食物アレルギー対応の手引」(令和3年1月改訂)

食物アレルギーを有する児童生徒を含めた全ての児童生徒が学校生活を安全・安心に、かつ、楽しく過ごすことができるよう「学校における食物アレルギー対応の手引」を作成しています。食物アレルギー対応の基本的な考え方や食物アレルギーを有する児童生徒への対応などを定め、教育委員会と各小中学校がそれぞれの役割を果たし、共通の認識を持ちながら、食物アレルギー対応をしています。

(2) 牛乳代金の減額

食物アレルギーにより牛乳が飲めない児童生徒に対し、医師の診断を受け申請することにより、学校給食における牛乳の提供中止と代金の減額を実施しています。

(3) 除去食

乳と卵の食物アレルギーを有する児童生徒に対し、対応するアレルゲンを除去した献立を提供しています。(令和6年度：乳の除去食8回、卵の除去食16回提供)

7 学校給食の地産地消

食育の推進として、市内や県内でとれる農産物をできる限り多く取り入れ、旬産、旬消を図るとともに安全・安心な食材の確保に努めます。また、郷土料理の給食を提供することにより児童生徒に地域への理解を深め、愛着を高める機会とします。

※令和6年度給食で使用した食材

野菜	41品目中 県内産 20品目[うち市内産8品目]
	地元産の割合(重量割合) 県内産 28.69%[うち市内産 3.77%]
肉	牛肉・豚肉・鶏肉 県内産 8.33%
米	あいちのかおり 市内産 100% 牛乳 県内産 100%

8 委員会の設置状況

(1) 学校給食センター運営委員会

- ・給食センターの運営に関する重要な事項及びこれに伴う調査研究を行う
- ・給食センターの運営に関し教育委員会が必要と認める事項の協議

児童生徒の父母の代表者7人、市内小中学校長2人

市内小中学校給食主任の代表者2人、関係行政機関の職員1人 計12人

(2) 給食用物資購入選定委員会

- ・給食用物資の購入に当たり、安価で良質な物資を選定する

児童生徒の父母の代表者1人、市内小中学校給食主任の代表者2人

学校教育課長、学校給食センター所長、栄養教諭2人 計7人

(物資の選定について)

物資の選定方法及び購入先の決定方法は、あらかじめ指定した物資の規格に応じ、指定業者から提出された見本と価格に基づき、味・品質の良否、価格の高低によって行う。ほぼ同等の場合は、業者の信用度、実績等により決定する。

(3) 献立作成委員会

- ・児童生徒に喜ばれ栄養のバランスに富む献立を作成する。

※委員会で協議した事項のうち必要と認めた場合は、給食センター運営委員会に報告することができる。

児童生徒の父母の代表者 1 人、市内小中学校給食主任 7 人

学校給食センター所長、栄養教諭 2 人、調理員の代表者 1 人 計 12 人

(4) 岩倉市立小中学校食物アレルギー対応検討委員会

- ・食物アレルギー対応マニュアル及び食物アレルギーをもつ児童生徒の把握
- ・食物アレルギー対応に関し教育委員会が必要と認める事項の協議

児童生徒の父母の代表者 1 人、市内小中学校長の代表者 2 人

市内小中学校養護教諭の代表者 2 人、市内小中学校保健主事の代表者 1 人

市内小中学校給食主任の代表者 2 人、市内医療機関の代表者 1 人

栄養教諭の代表者 1 人、消防職員 1 人 計 11 人

学校給食センター運営委員会委員名簿

任期 令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

区 分	氏 名	所 属
児童生徒の 父母の代表者	高 橋 羽 澄	岩 倉 北 小 学 校
	佐 藤 芳 実	岩 倉 南 小 学 校
	佐 藤 千 佳	岩 倉 東 小 学 校
	◎ 原 田 麻 美	五 条 川 小 学 校
	中 山 麻 美	曾 野 小 学 校
	岸 野 奈 津 美	岩 倉 中 学 校
	宮 島 功 始	南 部 中 学 校
小中学校長	○ 渡 辺 ま ゆ み	五 条 川 小 学 校
	櫻 井 智	岩 倉 中 学 校
小中学校給食主任の 代表者	榊 原 紗 弥	岩 倉 北 小 学 校
	中 村 夏 帆	南 部 中 学 校
関係行政機関の職員	山 本 功	江 南 保 健 所

◎委員長 ○副委員長

献立作成委員会委員名簿

任期 令和7年4月1日～令和8年3月31日

区 分	氏 名	所 属
学校給食主任	榊 原 紗 弥	岩倉北小学校
	岩 崎 沙 希	岩倉南小学校
	佐 々 木 愛	岩倉東小学校
	榎 田 道 子	五条川小学校
	小 林 由 佳	曾 野 小 学 校
	島 村 佳 世 子	岩 倉 中 学 校
	中 村 夏 帆	南 部 中 学 校
栄養教諭	河 浦 菜 摘	岩倉東小学校
	早 崎 香 奈	五条川小学校
調理員	学校給食センター調理員代表	
学校給食センター所長	佐 藤 さ と み	
児童生徒の 父母の代表者	小中学校より選出の 運営委員代表	

給食用物資購入選定委員会委員名簿

任期 令和7年4月1日～令和8年3月31日

区 分	氏 名	所 属
学校教育課長	◎ 酒 井 寿	
学校給食センター所長	佐 藤 さ と み	
学校給食主任	小学校の学校給食主任代表	
	中学校の学校給食主任代表	
栄養教諭	河 浦 菜 摘	岩倉東小学校
	早 崎 香 奈	五条川小学校
児童生徒の 父母の代表者	小中学校より選出の 運営委員代表	

◎委員長

生涯學習

生涯学習の主要施策

1 保護者・家庭の教育力の向上

保護者と連携を図り、子育てや家庭教育について学ぶ機会を提供し、保護者・家庭の教育力の向上に努めます。

－具体的な取組内容－

- ・家庭教育に関する学習機会の提供

2 地域ぐるみで子どもを育てる意識の醸成

地域等の人材との協働により、地域全体で子どもを育てる意識の醸成を図ります。また、地域で教育活動を行う団体・組織の活動状況を把握するとともに支援を行います。さらに、すべての市民が子どもの権利を尊重し、子どもたちも地域社会の一員としていきいきと行動できるよう、地域住民と子どもが交流する機会を創出します。

－具体的な取組内容－

- ・地域組織・市民団体が実施する教育活動への支援
- ・地域教育に関わる人材の育成
- ・地域学校協働活動推進事業の推進

3 青少年の健全育成活動の展開

放課後において、地域等との連携のもとで児童生徒の学びや体験機会の充実を図ります。また、青少年が健やかに育まれるよう、学校・家庭・地域・行政の連携のもとで環境づくりを進めます。

－具体的な取組内容－

- ・岩倉市青少年健全育成基本方針の推進
- ・青少年の非行・被害の防止、家庭の日啓発活動
- ・青少年に関する生活実態調査の実施

4 市民の生涯学習活動を支える環境づくり

生涯学習の必要性を広く市民に周知するとともに、身近な場での講座の実施等、利用しやすい学習機会を提供することで、主体的に生涯学習に関わる市民の増加を図ります。

－具体的な取組内容－

- ・生涯学習の必要性に関する啓発
- ・生涯学習に関する情報提供の充実
- ・生涯学習環境の整備

5 現代的課題に対応した学習の推進

複雑化・多様化する現代的な課題に対応するとともに、特に公共の生涯学習として対応すべきものを選定し、高等教育機関や近隣市町、市役所内の関連部署との連携により学習機会の提供に努めます。

－具体的な取組内容－

- ・現代的課題に対応した学習プログラムの実施
- ・高等教育機関や市役所内の関連部署との連携による学習機会の提供

6 市民の主体的活動の活性化

市民が主体的に生涯学習活動を行い、「自分のための学習」にとどまらず、生涯学習の最終的な目標といわれる「自己実現・社会貢献」へ発展的に展開できるよう、必要な支援の提供に努めます。

－具体的な取組内容－

- ・生涯学習サークルや社会教育関係団体の育成・支援の充実
- ・市民の主体的な生涯学習活動の促進・社会参加の支援

7 文化・芸術にふれる機会の充実

様々な分野からなる文化・芸術に市民がふれる機会を提供するため、多様な文化・芸術事業を推進します。また、市民による文化・芸術活動の発表の機会を充実させます。

－具体的な取組内容－

- ・鑑賞機会の提供
- ・創作・発表機会の充実

8 「音楽のあるまちづくり」の推進

セントラル愛知交響楽団とこれまで築き上げてきたパートナーシップの維持・発展に努めるとともに、魅力あふれる豊かな市民生活を実現するため、音楽に関わる活動を通じた人のつながりを形成し、市民・音楽家・行政の協働による「音楽のあるまちづくり」を推進します。

－具体的な取組内容－

- ・ジュニアオーケストラの運営
- ・身近な場所での音楽鑑賞機会の充実

9 文化・芸術活動を促進する環境整備

市民による自主的な文化・芸術活動を支援することで、文化・芸術活動に取り組む人材・組織の育成を行います。

－具体的な取組内容－

- ・市民の文化・芸術活動の振興
- ・子どもの文化・芸術活動の促進
- ・文化・芸術活動に取り組む人材・組織の育成

10 岩倉市固有の文化に対する理解促進

市民が、岩倉市固有の文化財や伝統文化、歴史に親しみ、自分たちの郷土として誇りを持てるよう、情報の共有や発信等に努めます。

－具体的な取組内容－

- ・郷土資料等の収集と保存・展示・公開
- ・地域の歴史・文化に関する周知・啓発
- ・郷土への愛着を高める地域学習の推進

11 地域の伝統文化の保存・継承

市民の関心を高め、市民全体で山車文化等地域の伝統文化の保護・継承に努めます。

－具体的な取組内容－

- ・山車巡行の継承と情報発信
- ・地域の祭り・伝統文化の継承活動の支援

12 文化財の保存と活用

主要遺跡、市指定文化財、その他の主な文化財を適切に管理するため、専門性を有する職員の配置に努めるとともに、専門家や市民の協力を得ながら、文化財の実態を把握し、必要な場合は指定を行うなど、遺跡・文化財の発掘と保護に努めます。

－具体的な取組内容－

- ・遺跡・文化財の発掘と保護・管理
- ・文化財保護の担い手づくり

事業概要

1 青少年健全育成事業

青少年の自主的社会的参加活動ができるよう、青少年の健全育成に努める。

(1) 青少年問題協議会・青少年問題協議会専門委員会

学校・地域・行政が連携し、青少年の豊かな人間性を育むとともに、非行・被害の防止を図り、青少年の健全育成活動を推進する。

専門委員会で「青少年に関する生活実態調査」を市内中学校に通う2年生全員を対象として毎年実施するほか、情報交換、啓発活動、パトロールを年間通して実施する。

(2) 放課後子ども教室

毎週土曜日の午前中、全小学校の体育館・図書室を利用して、放課後子ども教室を開催する。地域の大人の協力を得て全小学校に指導員を配置し、子どもたちが安全に安心して活動することができる居場所づくりを目指す。

(3) 地域学校協働活動推進事業

地域と学校が連携・協働して、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるため、多様な地域学校協働活動を推進し、「学校を核とした地域づくり」を目指す。岩倉中学校区の小中学校4校に地域と学校の橋渡し役となる地域連携コーディネーターを1～2人配置した。市内全ての小中学校での活動を目指し、令和7年度に向けて南部中学校区の小中学校3校との調整を行った。

(4) 二十歳のつどい

二十歳を迎えたことを祝うとともに、社会の担い手としての自覚と社会人として責任を確認する場として、参加者の代表が企画・運営する「二十歳のつどい」を開催した。

■令和6年度 開催日：令和7年1月12日（日）
会場： アデリア総合体育文化センター
参加者数：309人（対象者430人）



2 子育て親育ち推進事業

子育てのための「親の力」は、子と向き合うなかで親が自ら意識して学び身に付ける力であり、この「親の力＝親力（親だから）」を身に付ける学習機会の提供を端緒として「子育て親育ち推進」の認識を、市の関係部署と地域の連携のもと、全市に広げていく。

（１）子育て親育ち推進会議

市の関係部署と家庭教育関係団体代表、地域団体代表、有識者により、本事業の理念を共有し、協議して事業を推進する。

（２）講座の開催等

子の発達段階に応じた、親向けの講座を開催する。

3 文化事業

文化に対する関心を高め、芸術文化の普及振興を図り、文化団体等の自主的な活動の支援に努め、文化の香り高いまちづくりを推進する。

（１）岩倉市民文化祭

創作活動を行う市民の成果発表の場として、また、芸術文化への関心を高め、文化活動の普及向上を図ることを目的に岩倉市文化協会の協賛と市内小中学校の協力を得て開催する。

■令和6年度 期 間：11月1日（金）～4日（月）の4日間

会 場：アデリア総合体育文化センター

入場者数：3,432人



＜美術展「小中学生の部」＞



＜市民展「保育園児の作品」＞

令和6年度市民展出品者数

区 分	出 品 者 数
市民展（保育園含む）	998 人
生 花 展	35 人
盆 栽 展	8 人
美 術 展	545 人
合 計	1,586 人

(2) 市民音楽祭

市内の音楽愛好家が出演する音楽祭を岩倉市文化協会へ委託して開催する。

■令和6年度（第53回） 開催日 : 11月3日（日・祝）
会 場 : アデリア総合体育文化センター
出演者数 : 20団体 302人



(3) 市民茶会

市民が誰でも気軽に参加できる茶会を岩倉市文化協会・茶華道連盟の協力を得て開催する。

■令和6年度 開催日 : 4月27日（土）
席 主 : 河村社中
参加者数 : 154人

(4) 文化講演会・市民芸術劇場

市民の文化的要求に応え、人間性豊かなまちづくりの推進に資するために、文化人による講演や様々なジャンルの芸術を鑑賞する機会として、文化講演会と市民芸術劇場を毎年交互に開催する。

■令和6年度 文化講演会



開催日:11月24日（日）

会 場:アデリア総合体育文化センター

出 演:タケカワユキヒデ氏

演 目:「僕とポップカルチャーたち」

入場者数:225人

（５）市民ギャラリー・ミニステージ

市役所庁舎の市民ギャラリーとミニステージは、文化活動の発表の場として利用されている。

○市民ギャラリー 令和６年度 利用件数 : 28 件

○ミニステージ 令和６年度 利用件数 : 7 件

４ まちづくり文化振興事業

市民の自主的な文化活動の振興を図るため、各種の文化的な活動を行う団体または個人に対して、助成対象経費の２分の１以内、300 万円を上限として予算の範囲内において助成金を交付する。令和６年度は、２件 57 万 3 千 579 円を助成した。

〈 助成対象活動の種類 〉

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| 1 美術(絵画、彫刻、工芸、書、写真等)の発表、展覧 | 5 文化情報に関する制作、発表 |
| 2 音楽(民謡、詩吟などを含む)の発表、展覧 | 6 人材育成・交流機会の促進 |
| 3 演劇(園芸を含む)の発表、公演 | 7 その他の文化活動発表 |
| 4 文芸の発表、出版 | |

５ 文化財保護事業

文化財に対する理解を深めることで、郷土愛と文化財保護意識の高揚を図り、伝統文化の継承を図る。

（１）山車の保存、継承と保存会の育成

岩倉市に伝わる３台の山車の伝統を継承し、山車、からくり人形、お囃子を、桜まつりの山車巡行等で広く市民に紹介し、まちの活性化と文化財の保護に努める。また、くすのきの家の展示室において山車等に関する資料を展示し、周知・啓発に努める。

（２）民俗資料等の収集・保存・展示

市民が所有する民具等の提供を受け、修理等をして保存を図り、資料のデータベース化を進める。また、図書館３階の郷土資料室、くすのきの家の展示室での展示内容の充実に努めるとともに、岩倉民具研究会への委託により民具資料等の企画展を開催し、地域の歴史文化を紹介する。

令和６年度は、生涯学習センターと市役所２階市民ギャラリーにおいて「昔のあかりの物語」と題し、民俗資料企画展を開催した。



＜ 民俗資料企画展 ＞

（３）岩倉市史跡公園

史跡公園の管理運営に努めるとともに、鳥居建民家において市民茶会を開催するなど、市民

の歴史学習や憩いの場として活用を図る。

（４）文化財防火訓練

1月26日の「文化財防火デー」にちなみ、文化財を火災から守るため、関係者の協力を得て、防火訓練を行う。令和6年度は、1月18日（日）に中本町の神明大一社山車庫前において実施した。

（５）織田伊勢守信安公、山内一豊公追悼会の開催

岩倉市ゆかりの戦国の武将、織田伊勢守信安公と山内一豊公の遺徳を偲び、誓願寺・神明生田神社において追悼会を開催する。令和6年度は、令和7年3月29日（土）に実施した。

（６）埋蔵文化財保護

周知の埋蔵文化財包蔵地での開発に際して指導、試掘を行うなどして埋蔵文化財の保護、把握に努める。令和6年度は、五条川小統合保育園建設予定地の畑田遺跡で発掘調査を行い、令和6年12月1日（日）に現地説明会を実施した。

6 音楽のあるまちづくり事業

（１）ジュニアオーケストラ運営事業

平成9年6月に結成した岩倉市ジュニアオーケストラクラスは、セントラル愛知交響楽団の指導のもと、平成13年12月に正式に岩倉市ジュニアオーケストラとして発足した。定期演奏会をメイン行事としながら、音楽にふれあい、発表会などを通して人間性豊かで創造力にあふれる子どもたちの育成を図る。

令和6年度活動内容

開催日	事業名
6月2日（日）	第28回岩倉ポップスコンサート
7月28日（日）	演奏&楽器体験会
9月1日（日）	第24回定期演奏会
11月3日（日）	第53回市民音楽祭
11月10日（日）	ふれあいコンサート （いわくら市民ふれ愛まつり）
2月2日（日）	演奏&楽器体験会
3月23日（日）	練習成果発表会
3月25日（火）	岩倉駅コンサート

（２）音楽文化普及事業

「音楽のあるまちづくり」を進めるため、セントラル愛知交響楽団との提携により音楽文化普及事業を実施している。併せて、市内の音楽家などを中心として庁舎のミニステージを利用したロビーコンサートを行い、事業の充実を図る。

令和6年度は、小学校音楽鑑賞会2校、中学校音楽系部活動指導20回を実施した。

令和6年度コンサートの開催状況

事業名	日時	場所	入場者数	備考
第28回岩倉ポップスコンサート	6月2日(日) 14:00～15:30	アデリア 総合体育文化 センター	166人	指揮：高井優希 演奏：セントラル愛知交響楽団
岩倉駅コンサート	10月21日(月) ①17:00～17:30 ②18:00～18:30	岩倉駅地下 連絡道	109人 97人	演奏：セントラル愛知交響楽団 3月25日②は、岩倉市 ジュニアオーケストラ
	3月25日(火) ①15:00～15:30 ②16:00～16:30 ③17:00～17:30		96人 95人 72人	
マタニティ&キッズ コンサート	10月1日(火) ①10:00～10:40 ②11:10～11:50	生涯学習 センター	73人 70人	演奏：セントラル愛知交響楽団
	3月11日(火) ①10:00～10:40 ②11:10～11:50		78人 50人	

○市役所ロビーコンサート

身近な場所で音楽にふれる機会を提供するため、市役所1階ミニステージにおいて開催する。
また、演奏家の卵とも言える音大生などの若い人たちにスポットをあてたフレッシュコンサートを開催する。令和6年度は、10回開催し、そのうちフレッシュコンサートは2回開催した。

令和6年度ロビーコンサート開催状況

事業名	開催日	入場者数	出演者
歌とピアノで春を感じるコンサート	4月21日(日)	86人	<フレッシュ> 加藤ゆりな、長田理恵
歌うトランペット	5月26日(日)	100人	大和、金沢あきな、山田信晴
歌とピアノで織りなす「紫陽花コンサート」	6月23日(日)	72人	梅村悠、堀夏紀
クラリネットとピアノが奏でる夏の名曲	7月28日(日)	52人	<フレッシュ> 一色華江、牛田桐加、田中歩
季節の移ろいを、時代とともに	8月25日(日)	54人	築瀬彩、小林智子、野村知子
爽秋に響くハーモニー	9月29日(日)	74人	加藤くみ子、鈴木忍、水谷幸絵、 江野藍子

ヴァイオリンで巡る世界旅行	11月17日（日）	37人	（セントラル愛知交響楽団） 丹沢絵美、西村玲央菜
もうすぐクリスマスコンサート	12月22日（日）	87人	兼松里衣、富田三結
新春の調べ～今、昔～	1月11日（土）	87人	原田きよか、宮田としみ、 山田典山
春ひかりを感じて - 篠笛コンサート -	2月15日（土）	36人	SHINO

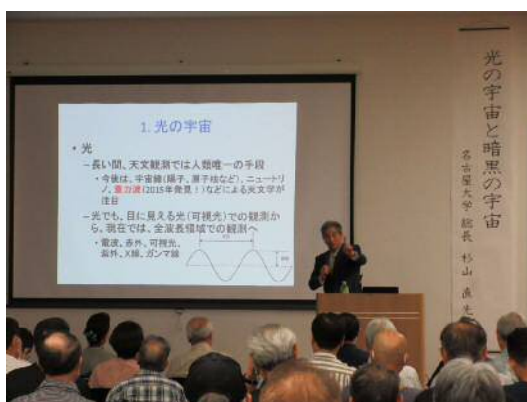
7 生涯学習センター事業

生涯学習センターは、2010年（平成22年）1月に開館し、本市の生涯学習活動を推進するための拠点施設としての役割を担っている。生涯学習に取り組むさまざまな団体、個人の自発性を尊重しつつ、総合的に支援する施設であり、開館当初から指定管理者（特定非営利活動法人来未iwakura）による施設管理と、生涯学習講座などの事業運営を市との連携のもと行っている。

- 市や県が実施する生涯学習事業の情報を収集して、市民に提供するとともに、学習相談に応じる体制を整備する。
- 生涯学習センター指定管理者と連携して、生涯学習講座の内容を充実させるとともに、生涯学習サークルの育成に努める。
- 高度で多様な学習要求に応えるため、大学と連携した講座の開催や、大学主催の公開講座の情報提供に努める。
- 生涯学習の拠点施設として適正な管理運営を進める。

生涯学習講座

■令和6年度 開 講 数 : 110 講座（前期 53 講座・後期 57 講座）
 受講者数 : 7,706 人（前期 延べ 3,671 人・後期 延べ 4,035 人）



<特別講座「光の宇宙と暗黒の宇宙」> <Music Lecture「南米フォルクローレの世界」>

生涯学習センター利用状況

1 各部屋の利用状況

(単位：件、%)

部屋名	年 度	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
会議室 1	件 数	815	760	783	711	485	653	728	777	730
	利用率	75.7	70.6	72.7	72.5	54.3	60.6	67.6	71.9	67.8
会議室 2	件 数	782	781	789	659	410	524	572	603	622
	利用率	72.6	72.5	73.3	67.2	45.9	48.7	53.1	55.8	57.8
会議室 3	件 数	805	771	843	711	407	540	670	720	744
	利用率	74.7	71.6	78.3	72.5	45.5	50.1	62.2	66.7	69.1
会議室 4	件 数	665	595	736	628	373	536	583	652	674
	利用率	61.7	55.2	68.3	64.0	41.7	49.8	54.1	60.4	62.6
研修室 1	件 数	469	405	428	394	298	432	451	383	382
	利用率	43.5	37.6	39.7	40.2	33.3	40.1	41.9	35.5	35.5
研修室 2	件 数	491	501	539	518	372	483	477	450	433
	利用率	45.6	46.5	50.0	52.8	41.6	44.8	44.3	41.7	40.2
料理室	件 数	255	262	260	236	82	123	186	220	273
	利用率	23.7	24.3	24.1	24.1	9.2	11.4	17.3	20.4	25.3
工芸室	件 数	483	485	524	478	373	492	536	488	433
	利用率	44.8	45.0	48.7	48.7	41.7	45.7	49.8	45.2	40.2
和 室	件 数	511	414	476	308	179	231	288	307	311
	利用率	47.4	38.4	44.2	31.4	20.0	21.4	26.7	28.4	28.9
スタジオ 1	件 数	881	925	892	784	654	809	814	803	746
	利用率	81.8	85.9	82.8	79.9	73.2	75.1	75.6	74.4	69.3
スタジオ 2	件 数	936	964	963	905	739	919	978	1,010	963
	利用率	86.9	89.5	89.4	92.3	82.7	85.3	90.8	93.5	89.4
スタジオ 3	件 数	702	768	877	783	611	768	877	853	898
	利用率	65.2	71.3	81.4	79.8	68.3	71.3	81.4	79.0	83.4
合 計	件 数	7,795	7,631	8,110	7,115	4,983	6,510	7,160	7,266	7,209
	利用率	60.3	59.0	62.8	60.4	46.4	50.4	55.4	56.1	55.8

※利用率：年間利用率

2 月別利用者数

(単位：人)

月\年度	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
4 月	9,474	9,066	9,328	9,207		5,797	6,060	6,253	6,556
5 月	9,205	8,811	9,310	8,609		5,395	6,917	6,542	7,127
6 月	11,085	10,704	10,737	9,952	4,697	5,730	7,347	7,109	7,869
7 月	10,073	10,287	11,255	11,993	5,775	6,458	8,451	8,417	8,176
8 月	9,431	8,668	8,950	9,003	4,881	5,592	6,229	6,658	6,291
9 月	9,072	9,608	9,270	9,581	6,372	4,903	7,168	7,335	6,787
10 月	11,334	8,957	10,219	9,996	7,023	6,860	7,685	7,670	8,013
11 月	9,902	9,642	10,756	10,058	7,006	6,698	7,546	8,561	6,995
12 月	9,758	8,841	9,091	8,882	5,934	6,287	6,867	7,151	6,874
1 月	9,203	9,205	8,585	8,717	4,971	5,824	7,009	7,191	6,816
2 月	10,199	9,766	9,907	10,107	5,658	5,630	6,950	7,662	7,661
3 月	9,991	9,758	9,452		6,364	6,241	6,956	7,457	8,293
合 計	118,727	113,313	116,860	106,105	58,681	71,415	85,185	88,006	87,458

3 曜日別利用状況

(単位:部屋、%)

曜 日	年 度	R元	R2	R3	R4	R5	R6
月曜日	利用室数	824	544	729	811	780	808
	利用率	48.7	34.3	39.7	44.2	42.5	43.2
火曜日	利用室数	1,045	739	973	1,022	1,028	1,035
	利用率	61.8	47.7	52.0	55.7	56.0	56.4
水曜日	利用室数	1,048	741	926	997	1,117	1,103
	利用率	61.9	47.9	50.4	53.3	60.8	60.1
木曜日	利用室数	1,103	756	946	1,087	1,131	1,088
	利用率	65.2	50.0	50.5	59.2	60.4	59.3
金曜日	利用室数	1,064	789	1,016	1,166	1,054	990
	利用率	62.9	52.2	55.3	62.3	57.4	53.9
土曜日	利用室数	1,034	768	1,025	1,065	1,088	1,116
	利用率	62.4	50.8	55.8	58.0	58.1	59.6
日曜日	利用室数	997	646	895	1,012	1,068	1,069
	利用率	60.2	42.7	48.7	55.1	57.1	58.2
合 計	利用室数	7,115	4,983	6,510	7,160	7,266	7,209
	利用率	60.4	46.4	50.4	55.4	56.1	55.8

※利用率:年間利用率

4 時間帯別利用状況

(単位:件、%)

区 分	年 度	R元	R2	R3	R4	R5	R6
午 前 9:00～12:30	件 数	2,637	1,901	2,566	2,784	2,759	2,673
	利用率	67.2	53.2	59.6	59.6	63.9	62.1
	割 合	37.1	38.1	39.4	38.9	38.0	37.1
午 後 12:30～17:00	件 数	2,493	1,818	2,433	2,607	2,624	2,613
	利用率	63.5	50.8	56.5	56.5	60.7	60.7
	割 合	35.0	36.5	37.4	36.4	36.1	36.2
夜 間 17:30～21:30	件 数	1,985	1,264	1,511	1,769	1,883	1,923
	利用率	50.6	35.3	35.1	35.1	43.6	44.6
	割 合	27.9	25.4	23.2	24.7	25.9	26.7
合 計	件 数	7,115	4,983	6,510	7,160	7,266	7,209
	利用率	60.4	46.4	50.4	55.4	56.1	55.8
	割 合	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※利用率:年間利用率

※割 合:時間帯区分の利用割合

5 目的別利用状況

(単位:件、%)

目 的	年 度	R元	R2	R3	R4	R5	R6
講 座	件 数	472	282	469	455	462	454
	割 合	6.6	5.7	7.2	6.4	6.4	6.3
文 化	件 数	55	39	47	42	48	40
	割 合	0.8	0.8	0.7	0.6	0.7	0.6
趣味・実技	件 数	2,704	2,139	2,755	3,011	3,026	3,040
	割 合	38.0	42.9	42.3	42.1	41.6	42.2
体育レク	件 数	1,517	1,248	1,484	1,525	1,494	1,439
	割 合	21.3	25.0	22.8	21.3	20.6	20.0
教 養	件 数	180	177	241	164	242	270
	割 合	2.5	3.5	3.7	2.3	3.3	3.7
交 流	件 数	270	73	81	110	211	269
	割 合	3.8	1.5	1.3	1.5	2.9	3.7
研修・講習	件 数	1,251	706	974	1,306	1,243	1,161
	割 合	17.6	14.2	15.0	18.2	17.1	16.1
その他	件 数	666	319	459	547	540	536
	割 合	9.4	6.4	7.1	7.6	7.4	7.4
合 計	件 数	7,115	4,983	6,510	7,160	7,266	7,209
	割 合	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※講座:市生涯学習講座とセンター自主講座

6 利用者別利用状況

(単位:件、%)

区 分	年 度	R2	R3	R4	R5	R6
生涯学習センター	件 数	310	505	544	572	582
	割 合	6.2	7.8	7.6	7.9	8.1
官公署	件 数	131	259	279	213	277
	割 合	2.6	4.0	3.9	2.9	3.8
生涯学習関係団体活動	件 数	2,172	2,479	2,661	2,723	2,659
	割 合	43.6	38.1	37.2	37.5	36.9
一般利用者	件 数	1,851	2,545	2,682	2,802	2,894
	割 合	37.2	39.1	37.5	38.6	40.1
会社関係	件 数	519	722	994	956	797
	割 合	10.4	11.1	13.9	13.2	11.1
合 計	件 数	4,983	6,510	7,160	7,266	7,209
	割 合	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

審議機関

（１）岩倉市社会教育委員の会議

社会教育法第 15 条に基づく機関で、岩倉市の社会教育全般について調査・審議する。学校教育の関係者、社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験のある者 10 人で構成している。

（２）岩倉市文化財保護委員会

文化財保護法第 190 条第 1 項に基づく機関で、岩倉市教育委員会の諮問に応じて文化財の保存及び活用に関する重要事項を調査審議し、これらの事項について教育委員会に建議する。文化財に関し学識経験を有する 8 人の委員で構成している。

（３）岩倉市青少年問題協議会、岩倉市青少年問題協議会専門委員会

岩倉市青少年問題協議会は、地方青少年問題協議会法第 1 条に基づく機関で、学校・地域・行政が連携し、青少年の豊かな人間性を育むとともに、非行・被害の防止を図り、青少年の健全育成活動を推進する。会長は市長をもって充て、他の委員は市議会の議員、関係行政機関の職員及び学識経験のある者から市長が任命して 10 人の委員で構成し、更に会議には専門委員会から幹事の 1 人が加わっている。

専門委員会は、岩倉市青少年問題協議会条例第 6 条第 1 項に基づく機関で、協議会の下部組織であり、青少年に関する生活実態調査の実施、情報交換、啓発活動、パトロールを年間通して実施する。関係行政機関、関係団体から 30 人の委員で構成している。

（４）岩倉市まちづくり文化振興事業審査会

岩倉市まちづくり文化振興事業審査会条例第 3 条に基づく機関で、文化的な活動を行う団体又は個人に対して交付するまちづくり文化振興事業助成金の審査等を行う。委員は識見を有する者、商工会会長、文化協会会長、教育長、社会教育委員長の 5 人で構成している。

社会教育関係団体

（１）岩倉市社会教育関係団体

岩倉市社会教育関係団体の登録に関する要綱に基づき、岩倉市の社会教育活動を積極的に推進するため、登録された社会教育関係団体に対して指導育成や、公共施設利用の利便を図る。

令和 7 年 4 月 1 日現在、岩倉市子ども会連絡協議会、岩倉市スポーツ協会、岩倉市国際交流協会等 25 団体が登録している。

補助団体

（１）岩倉市文化協会 令和 7 年 4 月 1 日現在 5 部門 26 団体 会員数 664 人

市内文化団体相互の連絡協調を図り、地方文化の普及、振興に寄与する目的で昭和 53 年に設立された。

(2) 岩倉市民吹奏楽団 令和7年4月1日現在 団員数 70 人

音楽を通じて青少年の社会参加、人との交流等による人格形成を図るとともに、演奏技術の向上及び市民への音楽の普及を行うために、昭和 47 年に設立された。

(3) 岩倉市スポーツ協会 令和7年4月1日現在 13 団体 1,646 人

岩倉市におけるスポーツの普及と振興を図るとともに、市民の体力の向上と心身の健全な発達及び明るく豊かな市民生活に寄与する目的で昭和 47 年に設立された。

市指定文化財一覧

有形文化財

番号	名 称	所 有 者	時代説明	指 定 日
1	下本町山車	神明生田神社（下本町）	江戸時代	昭和 49 年 11 月 15 日
2	大上市場山車	新溝神社（本町）	江戸時代	昭和 49 年 11 月 15 日
3	中本町山車	神明大一社（中本町）	江戸時代	昭和 50 年 3 月 27 日
4	円空作観音立像	大聖寺（川井町）	江戸時代	昭和 51 年 6 月 26 日
5	柿 経	大山寺教会（大山寺町）	室町時代	昭和 54 年 8 月 16 日
6	紺紙金字妙法蓮華経巻第六	個人（井上町）	南北朝以前	昭和 56 年 6 月 12 日
7	鰐 口	薬師堂（石仏町）	江戸時代	昭和 57 年 6 月 3 日
8	西出古墳出土品	岩倉市	古墳時代	昭和 59 年 2 月 27 日
9	丹彩台付壺形土器	個人（大地新町）	弥生時代	昭和 59 年 12 月 28 日
10	鳥居建民家	岩倉市	江戸時代	昭和 60 年 3 月 4 日
11	古市場遺跡出土須恵器	個人（中本町）	古墳時代	昭和 61 年 11 月 4 日
12	鈴井町獅子館	鈴井八幡社	江戸時代	平成 25 年 8 月 22 日

史跡

番号	名 称	所 在 地	時代説明	指 定 日
1	岩 倉 城 跡	岩倉市下本町城址	室町時代	昭和 49 年 11 月 15 日
2	山内一豊誕生地	岩倉市下本町神明生田神社	室町時代	昭和 49 年 11 月 15 日
3	井 上 城 跡	岩倉市井上町井出北 458 番地	室町時代	昭和 50 年 3 月 27 日
4	新 溝 古 墳	岩倉市本町宮西 1 番地	古墳時代	昭和 51 年 2 月 2 日
5	織田伊勢守信安夫妻墓	岩倉市下本町下寺廻 49 番地	室町時代	平成 23 年 8 月 25 日
県指定	大 地 遺 跡	岩倉市大地町史跡公園	弥生時代	昭和 29 年 3 月 12 日

社会教育施設一覧

(1) 岩倉市図書館 昭和町二丁目 17 番地 電話 0587-37-6804

昭和 58 年 5 月開館 建築延面積 2,484.39 m²

施設内容 開架室、視聴覚室、会議室、書庫室

(2) 岩倉市史跡公園 大地町野合 51 番地 電話 0587-38-6101

平成 8 年 4 月開園 敷地面積 4,533 m²

鳥居建民家 市指定文化財（有形） 建築面積 48.1 m²

竪穴住居 建築面積 29.37 m²



〈鳥居建民家〉

(3) 岩倉市生涯学習センター 本町神明西 20 番地 サクランド岩倉 2 階

平成 22 年 1 月開館 専有床面積 2,022.42 m²

施設内容 会議室 1～4、研修室 1・2、スタジオ 1～3、料理室、和室
市民団体コーナー、子供ルーム、工芸室、ギャラリー・ロビー、印刷室



〈生涯学習センターフェスティバル 活動発表〉

社会教育委員名簿

任期 令和6年4月1日～令和8年3月31日

区 分	氏 名	所 属
社会教育関係	◎内 藤 和 子	岩倉市国際交流協会
社会教育関係	片 岡 弘 子	岩倉市文化協会
社会教育関係	○鈴 木 貞 子	元図書館協議会委員
社会教育関係	小 池 幸 夫	岩倉市スポーツ協会
社会教育関係	田 中 愛 子	岩倉市ボランティア連絡協議会
学校教育関係	川 田 紀 子	曾野小学校
家庭教育関係	関 戸 誠	岩倉市子ども会連絡協議会
家庭教育関係	千 村 晶 子	男女共同参画基本計画推進委員会
学 識 経 験 者	松 尾 昌 之	元愛知江南短期大学教授

◎委員長 ○副委員長

文化財保護委員会委員名簿

任期 令和5年12月1日～令和7年11月30日

氏 名
◎関 戸 祐 一
羽 賀 祥 二
赤 塚 次 郎
井 上 章
西 形 久 司
望 月 友 恵
石 黒 智 教
大 藪 かおり

◎委員長

まちづくり文化振興事業審査会委員名簿

任期 令和7年6月1日～令和9年5月31日

区 分	氏 名	所 属
識見を有する者	萩 原 周	識見者
岩倉市商工会会長	山 田 幹 夫	岩倉市商工会
岩倉市文化協会会長	櫻 井 勝 義	岩倉市文化協会
岩倉市教育委員会教育長	野 木 森 広	岩倉市教育委員会
岩倉市社会教育委員の会議委員長	内 藤 和 子	岩倉市社会教育委員の会議

青少年問題協議会委員名簿

任期 令和6年6月1日～令和8年5月31日

氏 名	所 属
◎久保田桂朗	岩倉市長
○松本 恵	教育委員
森川洋人	小中学校PTA連合会会長
牧英津子	岩倉総合高等学校校長
大藪 かおり	南部中学校校長
宮崎健治	岩倉南小学校校長
丹羽幸一	岩倉市保護司会会長
嶋 保	岩倉市民生委員・児童委員協議会会長
鈴木 健	江南警察署署長
水野忠三	市議会厚生・文教常任委員会委員長
●水越正美	少年補導委員会代表

◎会長 ○副会長 ●幹事

青少年問題協議会専門委員会委員名簿

任期 令和7年4月1日～令和8年3月31日

氏 名	所 属
○大 野 代志子	人権擁護委員
丹 羽 幸 一	岩倉市保護司会
石 井 恵美子	岩倉市民生委員・児童委員協議会
堀 尾 博 子	岩倉市更生保護女性会
鈴 木 貞 子	岩倉市社会教育委員
若 杉 賢 司	岩倉市社会福祉協議会
堀 本 義 典	岩倉市子ども会連絡協議会
木ノ本 みゆき	岩倉市スポーツ少年団本部
正 高 素 子	岩倉市児童館運営委員会
◎水 越 正 美	岩倉市少年補導委員
宮 川 明 弘	江南警察署生活安全課
河 村 雅 之	地域学校協働活動推進員
西 山 健 二	岩倉総合高等学校生徒指導主事
石 井 清	岩倉北小学校 PTA
太 田 由 希	岩倉南小学校 PTA
舘 侑 子	岩倉東小学校 PTA
篠 田 芙 美	五条川小学校 PTA
岩 田 圭 輔	曾野小学校 PTA
塚 崎 海 緒	岩倉中学校 PTA
尾日向 恵 理	南部中学校 PTA
○宮 崎 健 治	岩倉南小学校校長
星 野 佑 典	岩倉北小学校生徒指導担当者
葛 谷 朋 恵	岩倉南小学校生徒指導担当者
稲 田 真 人	岩倉東小学校生徒指導担当者
高 木 祐 史	五条川小学校生徒指導担当者
後 藤 佳菜子	曾野小学校生徒指導担当者
平 賀 草 之 朗	岩倉中学校生徒指導主事
横 山 雄 大	南部中学校生徒指導主事
大 池 千 晴	岩倉市教育支援センター長
野 田 克 枝	こども家庭課指導保育士

◎委員長 ○副委員長

圖書館

図書館の主要施策

1 図書館サービスの充実

子どもの読書活動の推進のため、ボランティアグループの活動や運営を様々な方法で支援するとともに、家庭や学校図書館、図書館等、地域社会全体での連携した取組を進めます。また、市民や子どもたちが図書館等を利用し、読書に親しむことができるよう、図書館環境の充実を図ります。

－具体的な取組内容－

- ・ 図書館資料の充実
- ・ 子どもの読書活動の推進
- ・ 図書館ボランティアの活動支援
- ・ 利用しやすい図書館環境の整備



<人形劇フェスティバル>



<おりがみ教室>

事業概要

1 主な図書館事業

- 学校図書の発注・受入れ・蔵書管理などを行い、学校図書館ネットワーク事業を推進する。
- 人形劇フェスティバルの開催
- 大型紙芝居作成と読み聞かせボランティアによる上演
- Nゲージ鉄道模型運転会の開催（春・夏 年2回）
- ブックスタート（幼児と親が絵本を介して暖かく楽しいひと時を過ごし、また、絵本の楽しさを知るきっかけをつくる運動）をボランティアの方々で行う。
- 子ども読書活動推進計画に基づき、子どもにより良い読書環境を提供する。
- 開館日の充実
原則、年末年始、特別整理期間及び館内整理日以外は開館する。
- 調査研究のための資料探しを支援するレファレンスサービスの充実を図る。
- 読み聞かせ講座、読書活動推進講座開催
- 無償譲渡会開催
- 施設の保全等

2 資料費

科 目		令和6年度
図書費		8,361,000 円
	(学校図書)	5,004,000 円
計		13,365,000 円
雑誌・新聞・法規等		2,620,000 円

3 図書館協議会

岩倉市図書館協議会（8人）

図書館の運営に関して、館長の諮問に応ずるとともに、図書館奉仕について館長に意見を述べる（年3回開催）。

4 図書館資料

(1) 図書 (各年度末現在)

(単位：冊)

年度	年 間 受 入 冊 数			除 籍	蔵書数
	購入分 (A)	寄贈その他 (B)	総数 (A + B)		
26	5,742	331	6,073	5,158	175,220
27	6,007	250	6,257	5,743	175,734
28	6,125	323	6,448	4,307	177,875
29	4,695	363	5,058	2,999	179,934
30	5,471	323	5,794	4,381	181,347
元	5,410	233	5,643	9,070	177,920
2	4,286	276	4,562	11,071	171,411
3	4,632	337	4,969	5,381	170,999
4	5,589	402	6,053	8,805	168,247
5	5,679	419	6,098	6,189	168,156
6	5,175	419	5,577	8,873	164,860

(2) 図書以外の資料 (令和7年3月31日現在)

紙芝居	598 組	音訳図書	118 枚
大型紙芝居 (中型含)	56 枚	1 / 50000 地図	1,275 枚
C D	1,549 本	1 / 25000 地図	4,682 枚
雑誌 (購入分)	108 種	都市地図	49 枚
新聞 (購入分)	17 種	官公報	2 組
ビデオテープ	57 本	データベース	3 種
D V D	981 枚	全国電話帳	全国

(3) 蔵書構成 (令和7年3月31日現在)

(単位:冊、%)

	分類	一般、家庭	比率	児童、ヤング	比率	合計	比率
A	郷土資料	12,409	9.7	0	0.0	12,409	7.5
R	参考資料	5,254	4.1	294	0.8	5,548	3.4
0	総記	4,867	3.8	397	1.1	5,264	3.2
1	哲学、宗教	6,533	5.1	386	1.0	6,919	4.2
2	歴史、地理	9,886	7.7	1,801	4.9	11,687	7.1
3	社会科学	16,652	13.0	1,875	5.1	18,527	11.2
4	自然科学	9,197	7.2	2,389	6.5	11,586	7.0
5	工学、家事	8,563	6.7	1,029	2.8	9,592	5.8
6	産業	3,202	2.5	579	1.6	3,781	2.3
7	芸術スポーツ	9,223	7.2	1,581	4.3	10,804	6.5
8	言語	2,562	2.0	1,765	4.8	4,327	2.7
9	文学	39,748	31.0	24,668	67.1	64,416	39.1
	合計	128,096	100.0	36,764	100.0	164,860	100.0
	%	77.7	—	22.3	—	100.0	—

※点字資料は含まない

(4) 新聞一覧 (購入分のみ 順不同)

朝日新聞	朝日小学生新聞	赤旗
中日新聞	ジャパントイムズ	公明新聞
中日スポーツ	毎日新聞	社会新報
日刊工業新聞	読売新聞	赤旗日曜版
日本経済新聞	産経新聞	中部経済新聞
日刊スポーツ	自由民主	

(5) 官公報

・官報 ・愛知県公報

(6) データベース

・現行日本法規 ・官報情報 ・中日新聞記事

(7) 開館日数 (令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(単位:日)

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館日数	29	30	30	31	29	30	30	21	27	26	27	30	340

(8) 館外利用登録者数 総数 38,709 人

年齢別・登録者一覧 (令和7年3月31日現在)

(単位: 人、%)

	6歳 以下	7～9 歳	10～12 歳	13～15 歳	16～18 歳	19～22 歳	23～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上	合 計
計	851	838	910	1,025	1,106	1,544	3,560	6,368	6,551	6,485	3,439	6,032	38,709
比率	2.2	2.2	2.3	2.6	2.9	4.0	9.4	16.9	16.	16.4	8.5	15.1	100.0

(9) 館外利用 総人 48,255 人 総点数 220,181 点

コーナー別内訳 (令和7年3月31日現在)

(単位: 点)

		元年度	比率%	2年度	比率%	3年度	比率%	4年度	比率%	5年度	比率%	6年度	比率%
A	郷土資料	229	0.1	218	0.1	248	0.1	284	0.1	407	0.2	401	0.2
1	一 般	103,958	39.7	79,813	39.3	98,634	39.3	96,534	39.3	94,439	40.2	85,628	38.8
2	家 庭	34,209	13.1	21,592	10.6	25,308	10.6	25,428	10.6	25,711	10.9	24,089	10.9
3	ヤングアダルト	3,265	1.3	3,002	1.5	3,616	1.5	3,126	1.5	2,950	1.3	3,471	1.6
4	児 童	49,034	18.7	39,155	19.3	53,935	19.3	50,520	19.3	46,231	19.6	45,197	20.5
5	絵 本	49,514	18.9	42,143	20.7	54,625	20.7	51,355	20.7	47,867	20.4	45,012	20.4
6	紙 芝 居	1,348	0.5	854	0.4	1,039	0.4	946	0.4	882	0.4	761	0.3
7	視聴覚資料	9,798	3.7	7,643	3.8	9,340	3.8	8,825	3.8	8,270	3.5	8,120	3.9
8	雑 誌	10,416	4.0	8,753	4.3	9,623	4.3	9,196	4.3	8,222	3.5	7,501	3.4
	合 計	261,771	100.0	203,173	100.0	256,368	100.0	246,214	100.0	234,979	100.0	220,181	100.0

図書館協議会委員名簿

任期 令和5年7月1日～令和7年6月30日

区 分	氏 名	所 属	備 考
学校教育関係者	渡辺まゆみ	五条川小学校	
社会教育関係者	丹羽あけみ	岩倉市文化協会	
社会教育関係者	千賀 弘子	音訳の会 あめんぼ	
社会教育関係者	○山田 育代		
家庭教育の向上に資する活動を行うもの	大島 愛子		
学識経験者	◎小杉美智子	おはなし会	
学識経験者	堅田 友則		
学識経験者	畠山恵理子		

◎委員長 ○副委員長

ス ポ ー ツ

スポーツの主要施策

1 市民全体のスポーツ活動の活性化

体を動かすことによる心身の健康への影響の大切さを周知し、その重要性を伝えるとともに、スポーツを楽しむ、身近な場所で気軽にスポーツに参加できる機会の創出を図ります。

また、スポーツ団体が、市民のスポーツ参加機会の拡充や、人や地域の交流の核となるように支援します。

－具体的な取組内容－

- ・スポーツの普及と振興
- ・スポーツイベントの開催
- ・スポーツ団体の育成・活動支援
- ・スポーツ指導者の育成
- ・子どものスポーツ活動の活性化

2 競技スポーツの振興

プロスポーツ選手等を招待し、交流し、また指導してもらう機会を提供することで、スポーツへの興味や意欲を高めます。また、県や近隣市町等と連携し、市民のスポーツ技術向上に向けた取組を支援します。

－具体的な取組内容－

- ・競技スポーツの振興
- ・プロスポーツにふれる機会の提供

3 スポーツ環境の整備

地域における身近なスポーツ活動の場を確保するため、学校体育施設の有効活用やスポーツ施設の整備に努めます。

－具体的な取組内容－

- ・スポーツ施設の整備
- ・学校体育施設等の有効活用

施設概要

1 スポーツ施設

(1) 総合体育文化センター 鈴井町下新田 123 番地 電話 0587-66-2222 FAX 66-2412

平成 2 年 4 月開館 敷地面積 8,977 m² (内はなのき広場 2,581 m²)

施設内容 アリーナ (44m×36m)、多目的ホール (18m×17m) 席数 554 席、トレーニング室、剣道場、柔道場、卓球室、アクティブルーム、会議室、研修室、ふれあいホール、はなのき広場等

(2) 野寄スポーツ広場 野寄町火吹 6 番地

昭和 49 年 7 月開場 敷地面積 10,239 m² (レフト 80m ライト 78m)

利用内容 軟式野球、ソフトボール等

(3) 石仏スポーツ広場 石仏町五山寺1番地

昭和63年11月開場 敷地面積 13,122 m² (レフト88m ライト83m)

利用内容 軟式野球、サッカー、ソフトボール等

(4) 野寄テニスコート 野寄町火吹6番地 電話・FAX 66-6650

昭和57年12月開場 (人工芝コート)

敷地面積 4,339 m²

施設内容 人工芝コート5面 夜間照明期間4月～11月

(5) 岩倉北小学校グラウンド夜間照明 本町南新溝廻間2番地

昭和53年7月設置 面積8,791 m² 照度32kw

利用内容 ソフトボール等 夜間照明期間4月～10月

(6) 南部中学校グラウンド夜間照明 曾野町江毛1番地

昭和56年4月設置 面積15,064 m² 照度78kw

利用内容 軟式野球、ソフトボール等

2 令和6年度改修等主な実績

各施設について、随時、修繕対応するなど適切に管理し、利用者の利便性向上に努めた。

(1) 総合体育文化センター

ウォータークーラー取替修繕、シャワー室修繕、光電式分離型感知器の断線調査及び修繕

(2) 野寄スポーツ広場、野寄テニスコート

人工芝修繕

事業概要

1 令和6年度スポーツ教室

(1)市主催教室

教室名	対象	開催曜日	参加延べ人数	会場
ボッチャ教室 第1期	市内在住、在勤で小学生以上	土	23人	総合体育文化センター
ボッチャ教室 第2期	市内在住、在勤で小学生以上	土	19人	総合体育文化センター

(2)指定管理者主催教室（通年開催事業）

教室名	対象	開催曜日	参加延べ人数	会場 (総合体育文化センター内)
グッドモーニングヨガ	18歳以上	月	573人	柔道場
産後ケア	産後2ヶ月からのお母さん	月	98人	親子リズム室
筋トレ&ストレッチ	18歳以上	月	483人	多目的ホール他
ピラティス	18歳以上	月	450人	多目的ホール
K-POP Dance	小学校3年生以上	月	707人	多目的ホール
コロコロっと！エクササイズ	18歳以上	月	250人	多目的ホール
ヒップホップ ノービスクラス	中学生以上	月	424人	多目的ホール
ハタフローヨガ	18歳以上	火	362人	柔道場
やさしい脂肪燃焼エアロ	18歳以上	火	258人	多目的ホール他
N@TSUKI ノービスクラス (新規)	小学校3年生以上	火	289人	多目的ホール他
ボクシングエクササイズ	18歳以上	火	429人	多目的ホール他
かんたんエアロ&ピラティス	18歳以上	水	694人	多目的ホール他
アロマリフレッシュヨガ	18歳以上	水	421人	多目的ホール他
ヨガ&ピラティス	18歳以上	水	337人	柔道場
ママの骨盤エクササイズⅡ	18歳以上	水	66人	親子リズム室

教室名	対象	開催曜日	参加延べ人数	会場 (総合体育文化センター内)
ベビーヨガリズムミックス	首すわりから1歳6ヶ月まで	水	93人	親子リズム室
骨盤バレトン	18歳以上	木	883人	多目的ホール他
かんたん身体ほぐし (5月～コロコロっ！身体ほぐし)	18歳以上	木	930人	多目的ホール他
キッズダンス リトルスター&スターター1	年中から小学校2年生まで	木	1,586人	剣道場、多目的ホール
キッズダンス スターター2	小学校3年生以上	木	1,103人	多目的ホール他
HIPHOPベーシック	小学校3年生以上	木	903人	多目的ホール他
中高生HIPHOPベーシック	中学生以上	木	427人	多目的ホール他
中高生HIPHOPノービス	中学生以上	木	267人	多目的ホール他
ZUMBA	18歳以上	木	665人	多目的ホール
親子ふれあい体操教室	よちよち歩きから3歳までの幼児とその保護者	金	182人	柔道場・剣道場
骨盤スリムヨガ	18歳以上	金	685人	多目的ホール他
ディスコダンスフィットネス	18歳以上	金	599人	多目的ホール他
ムーンナイトヨガ	18歳以上	金	604人	多目的ホール

(3) 岩倉市スポーツ協会主催教室

教室名	対象	回数	参加延べ人数	会場
シュノーケリング教室	小学校4年生以上の小中学生とその保護者	1回	22人	若狭三方マリンパーク
ボウリング教室	小学生以上	2回	4人	稲沢グランドボウル

(4) スポーツクラブ教室

教室名	対象	開催曜日	参加延べ人数	会場
ラージボール ミニテニス カローリング	岩倉スポーツクラブ会員	水	1,839人	総合体育文化センター アリーナ (全107回)
カローリング		金		
ビーチボール バドミントン ミニテニス タスポニー		土		

2 令和6年度市・市教育委員会及びスポーツ協会が主催、協力した行事

期 日	大 会 名	会 場	参加 者数	内 容
5月25日	アダプトプログラム	岩倉市内	18人	運動施設周辺の清掃活動
6月9日 6月16日	第32回スポーツ レクリエーション祭	総合体育 文化センター 他	168人	バウンドテニス・ビーチボールバレー・インディアカ・ソフトバレーボール・グラウンドゴルフ・ラージボールの6種目の大会を開催
7月7日	第26回 青少年剣道大会	総合体育 文化センター	235人	小中学生を対象とした青少年剣道大会の企画、 当日の運営
7月21日	第31回 市民ボウリング大会	稲沢グランド ボウル	97人	小学生以上の市民を対象としたボウリング大会 の企画、当日の運営
9月～12月	第48回 市民球技大会	市内	582人	軟式野球・ソフトテニス・卓球・ソフトボール・テニス・バドミントン・ バレーボール・フットサルの8種目の大会を開催
10月6日	健幸都市宣言のまち 第54回 岩倉市民体育祭	岩倉北小学校 グラウンド	2900人	岩倉市民体育祭の種目、内容の検討及び当日の 運営
10月13日	第21回 県内招待少年空手道 交流大会	総合体育 文化センター	119人	小中学生を対象とした少年空手道交流大会の企 画、当日の運営
10月19日	クリーンチェック いわくら	市内	20人	運動施設周辺の清掃活動
11月9日 11月10日	スポーツフェア（市 民ふれ愛まつり）	総合体育 文化センター	1124人	ニュースポーツの紹介や模擬店の出店などを行 うスポーツフェアを開催
11月17日	第28回市民グラウン ドゴルフ大会	野寄 スポーツ広場	49人	グラウンドゴルフ大会の企画、当日の運営
12月7日	第17回 愛知県市町村対抗駅 伝競走大会	愛・地球博 記念公園	20人	愛知県内市町村対抗による駅伝競走大会への参 加
3月2日	健幸都市宣言のまち 第12回いわくら市民 健康マラソン	岩倉市内	1,094人	いわくら市民健康マラソンの企画、当日の運営

期 日	大 会 名	会 場	参加 者数	内 容
3月9日	第33回 ダンス&体操発表会	総合体育 文化センター	171人	ダンス&体操発表会の企画、当日の運営

3 令和6年度岩倉スポーツクラブが実施した行事

期 日	大 会 名	会 場	参加 者数	内 容
5月11日	4コートバレーボール大会	総合体育 文化センター	45人	小学校3年生以上を対象とした4コートバレーボール大会の企画、当日の運営に協力
6月15日	カラーリング大会	総合体育 文化センター	63人	小学生以上を対象としたカラーリング大会の企画、当日の運営に協力
9月7日	市民カラーリング大会	総合体育 文化センター	63人	小学生以上を対象とした市民カラーリング大会の企画、当日の運営に協力
10月12日	歩こう会	岐阜県関ヶ原町	25人	小学校4年生以上を対象とした歩こう会の企画、当日の運営に協力
1月25日	餅つき& バルーンアート	希望の家	45人	小学生以上を対象とした餅つき&バルーンアートの企画、当日の運営に協力

岩倉市スポーツ推進委員名簿

任期 令和6年4月1日～令和8年3月31日

氏 名
◎武 藤 栄 司
北 原 直 美
○尾 上 淳 一
村 瀬 泰 久
横 地 孝 典
片 田 高 志
奥 田 裕 司
川 井 里 美
浅 野 清 美
石 黒 智 紀
栗 木 純 子
馬 路 映 子
宮 川 忠 久
滝 川 航 大

◎委員長 ○副委員長

スポーツ施設利用状況

岩倉市のスポーツ施設利用状況

施 設 名	年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
市立体育館	件数	301	309	297	201	276	—	—	—
	人数	5,450	5,901	6,124	4,939	5,759	—	—	—
野寄スポーツ広場	件数	560	600	558	560	731	757	646	735
	人数	38,373	43,874	36,204	41,149	53,056	48,518	44,197	48,999
石仏スポーツ広場	件数	927	893	807	788	884	883	875	0
	人数	61,380	55,060	45,430	49,107	47,873	48,911	46,701	0
野寄テニスコート	件数	5,596	5,535	5,021	4,433	5,607	5,805	5,589	5,713
	人数	33,749	34,713	31,929	27,431	34,627	38,142	37,123	37,587
中央公園グラウンド	件数	606	558	590	459	501	606	603	587
	人数	28,699	38,419	26,202	20,549	24,020	34,860	32,041	32,758
北小学校グラウンド 夜間照明	件数	32	48	43	37	15	32	38	36
	人数	1,064	1,160	1,495	1,145	436	1,056	1,100	1,025
南部中学校グラウンド 夜間照明	件数	78	119	65	51	65	46	36	14
	人数	3,235	3,644	2,543	1,318	1,613	2,075	1,062	262
総合体育 文化センター	件数	50,799	53,747	49,325	29,968	35,306	40,361	45,179	49,472
	人数	400,817	384,749	353,121	171,420	222,937	316,727	365,218	340,567
計	件数	58,899	61,809	56,706	36,497	43,385	48,490	52,966	56,557
	人数	572,767	567,520	503,048	317,058	390,321	490,289	527,442	461,198

岩倉北小学校体育館	件数	—	—	—	—	—	327	369	344
	人数	—	—	—	—	—	7,342	7,706	7,125
岩倉南小学校体育館	件数	144	130	127	81	143	92	69	54
	人数	1,535	1,159	1,317	805	1,261	826	765	547
岩倉東小学校体育館	件数	217	232	136	92	113	129	144	191
	人数	3,014	2,941	2,219	1,714	1,872	2,086	2,536	2,972
五条川小学校体育館	件数	271	257	235	136	211	249	299	256
	人数	3,259	3,059	2,895	1,600	2,351	2,845	4,657	3,278
曾野小学校体育館	件数	302	270	227	132	214	271	289	291
	人数	8,721	7,616	7,567	3,350	5,260	7,370	7,558	7,305
岩倉中学校体育館	件数	145	150	116	79	96	153	203	198
	人数	2,248	2,449	1,593	1,023	1,459	2,729	3,308	2,626
南部中学校体育館	件数	224	201	177	119	173	220	204	232
	人数	2,458	1,941	1,634	1,063	1,386	1,979	2,155	2,664
計	件数	1,303	1,240	1,018	639	950	1,441	1,577	1,566
	人数	21,235	19,165	17,225	9,555	13,589	25,177	28,685	26,517

合 計	件数	60,202	63,049	57,724	37,136	44,335	49,931	54,543	58,123
	人数	594,002	586,685	520,273	326,613	403,910	515,466	556,127	487,715

令和6年度総合体育文化センター月別利用状況

場所 月		アリーナ	トレーニング室	柔道室	剣道室	卓球室	アクティブルーム	多目的ホール	会議室	研修室	ふれあいホール	合計
4月	件数	372	46	81	82	451	143	49	50	43	19	1,336
	人数	10,266	2,484	1,062	1,132	1,048	1,854	1,171	364	695	172	20,248
5月	件数	373	63	79	93	412	136	77	45	32	26	1,336
	人数	11,166	2,707	953	1,249	954	1,771	5,408	378	343	307	25,236
6月	件数	343	35	92	106	410	140	91	65	50	52	1,384
	人数	11,472	2,794	1,095	1,579	962	1,791	6,691	512	500	406	27,802
7月	件数	391	56	82	95	486	147	110	72	46	76	1,561
	人数	10,929	2,977	1,232	1,502	1,198	1,986	7,321	555	519	1,196	29,415
8月	件数	396	44	52	107	476	149	85	75	56	69	1,509
	人数	8,949	2,679	1,065	1,275	1,141	1,798	5,735	866	524	1,555	25,587
9月	件数	356	60	59	111	441	148	104	92	89	62	1,522
	人数	11,307	2,890	684	1,179	1,021	1,702	6,836	663	783	428	27,493
10月	件数	291	45	70	107	402	153	136	121	122	109	1,556
	人数	10,626	2,838	1,023	1,468	964	1,921	6,715	641	729	471	27,396
11月	件数	332	38	95	126	328	151	133	120	101	112	1,536
	人数	23,464	2,211	1,659	1,957	1,084	1,839	11,773	885	842	1,302	47,016
12月	件数	356	32	49	109	334	129	111	65	62	65	1,312
	人数	9,251	2,417	695	1,354	744	1,439	16,445	684	688	667	34,384
1月	件数	371	51	54	93	366	134	85	56	51	49	1,310
	人数	7,256	2,649	842	1,227	861	1,928	6,496	425	421	336	22,441
2月	件数	398	37	58	101	384	131	86	63	54	48	1,360
	人数	9,392	2,661	890	1,455	881	1,455	9,998	551	612	448	28,343
3月	件数	449	56	65	90	404	150	92	78	68	57	1,509
	人数	9,080	2,934	941	1,187	968	1,638	6,618	646	689	505	25,206
R6	件数	4,428	563	836	1,220	4,894	1,711	1,159	902	774	744	17,231
合計	人数	133,158	32,241	12,141	16,564	11,826	21,122	91,207	7,170	7,345	7,793	340,567
R5	件数	4,102	28,872	1,028	1,296	5,008	1,395	1,148	955	815	580	45,199
合計	人数	143,682	28,872	15,723	22,017	12,750	17,006	100,941	9,702	9,842	5,245	365,780
R4	件数	3,982	25,096	1,103	1,427	4,862	392	1,382	865	796	456	40,361
合計	人数	124,288	25,096	15,505	25,460	12,369	2,406	85,739	9,832	11,032	5,000	316,727
R3	件数	4,203	21,868	892	1,298	4,309	302	925	637	607	265	35,306
合計	人数	93,635	21,868	11,471	22,304	10,319	1,348	46,523	6,370	6,954	2,145	222,937
R2	件数	3,554	18,806	831	1,073	3,560	234	838	499	380	193	29,968
合計	人数	72,666	18,806	12,746	19,901	8,363	1,045	27,824	4,522	3,957	1,590	171,420
R1	件数	3,454	35,678	1,099	1,612	3,680	711	1,001	766	739	585	49,325
合計	人数	137,116	35,678	19,059	28,198	10,201	3,784	95,282	8,245	9,014	6,544	353,121
H30	件数	3,734	39,201	1,202	1,682	4,171	725	769	746	788	729	53,747
合計	人数	142,643	39,201	27,245	35,286	11,650	4,598	93,735	10,531	11,700	8,160	384,749
H29	件数	3,603	35,114	1,381	1,844	4,262	825	1,186	887	768	929	50,799
合計	人数	147,108	35,114	25,994	34,521	12,174	4,695	105,707	12,473	10,326	12,705	400,817
H28	件数	3,641	29,747	1,267	1,885	4,473	874	1,043	856	854	886	45,526
合計	人数	182,743	29,747	27,953	36,156	13,299	4,045	120,859	11,349	10,958	5,898	443,007
H27	件数	3,261	28,546	1,207	1,627	3,806	887	1,127	815	720	757	42,753
合計	人数	162,060	28,546	30,428	36,143	11,354	4,604	111,196	14,082	12,752	6,161	417,326
H26	件数	3,460	25,277	1,100	1,378	3,365	799	992	905	684	688	38,648
合計	人数	151,569	25,277	27,786	33,937	10,660	3,844	93,266	14,656	11,645	8,482	381,122

令和6年度総合体育文化センターアリーナ種目別利用状況

月	種目	バスケット	バレーボール	テニス	バドミントン	バウン ド テニス	卓球	フットサル	ソフトバレー	その他	合計
4月	件数	24	23	5	111	9	26	35	8	131	372
	人数	2,395	392	34	1,764	148	533	2,848	240	1,912	10,266
5月	件数	10	14	7	127	12	27	39	11	126	373
	人数	126	203	44	2,115	208	832	2,714	270	4,654	11,166
6月	件数	22	27	5	98	8	33	36	10	104	343
	人数	675	587	35	1,389	128	1,571	3,387	260	3,440	11,472
7月	件数	36	38	2	115	10	29	35	12	114	391
	人数	1,318	1,211	8	1,889	168	527	1,598	276	3,934	10,929
8月	件数	34	43	0	139	8	20	35	10	107	396
	人数	903	899	0	1,388	112	458	3,542	214	1,433	8,949
9月	件数	8	23	0	107	8	24	48	10	128	356
	人数	106	251	0	1,819	112	797	5,000	212	3,010	11,307
10月	件数	1	4	0	67	10	17	26	10	156	291
	人数	20	82	0	883	170	2,139	2,750	190	4,392	10,626
11月	件数	8	10	0	100	6	15	21	9	163	332
	人数	243	153	0	1,120	104	670	2,468	204	18,502	23,464
12月	件数	5	27	0	115	8	27	42	20	112	356
	人数	70	501	0	2,007	112	932	3,638	336	1,655	9,251
1月	件数	5	13	0	136	8	22	31	16	140	371
	人数	66	113	0	1,998	120	520	2,494	326	1,619	7,256
2月	件数	6	35	5	149	8	26	30	11	128	398
	人数	126	788	80	2,247	120	746	3,522	266	1,497	9,392
3月	件数	5	52	1	178	7	25	28	15	138	449
	人数	130	841	4	2,809	108	401	2,370	300	2,117	9,080
R6	件数	164	309	25	1,442	102	291	406	142	1,547	4,428
合計	人数	6,178	6,021	205	21,428	1,610	10,126	36,331	3,094	48,165	133,158
R5	件数	199	175	28	1,272	100	301	437	110	1,480	4,102
合計	人数	8,953	4,173	287	17,352	1,667	13,158	40,069	2,804	55,219	143,682
R4	件数	145	107	20	1,320	99	356	397	120	1,379	3,943
合計	人数	5,671	2,184	163	18,103	1,613	10,074	36,714	3,556	45,659	123,737
R3	件数	280	186	23	1,788	86	307	331	167	1,035	3,555
合計	人数	8,071	2,817	292	21,360	1,388	6,713	27,843	3,226	21,925	72,657
R2	件数	170	184	38	1,459	77	208	368	157	894	3,555
合計	人数	3,842	2,692	533	15,387	1,144	5,295	19,873	3,183	20,708	72,657
R1	件数	126	145	97	965	90	354	443	143	1,091	3,454
合計	人数	3,923	4,055	1,504	13,983	1,431	9,780	34,221	3,298	64,921	137,116
H30	件数	167	229	109	980	97	324	443	168	1,217	3,734
合計	人数	4,810	4,979	1,828	14,162	1,684	9,861	31,695	4,404	69,220	142,643
H29	件数	147	225	89	838	95	259	390	157	1,399	3,599
合計	人数	3,246	4,735	1,506	13,970	1,627	8,121	31,995	4,258	77,650	147,108
H28	件数	233	263	34	771	85	172	412	158	1,513	3,641
合計	人数	9,008	9,850	527	16,528	1,312	7,170	35,321	4,271	98,756	182,743
H27	件数	205	128	31	725	92	134	373	157	1,416	3,261
合計	人数	5,031	3,321	447	14,370	1,291	7,189	30,945	4,144	95,322	162,060

令和6年度トレーニング室男女別利用状況

(単位：人)

年代 月・性別		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計	トレーニング講習	合計
4月	男性	105	130	172	299	288	358	388	1,740	30	2,530
	女性	22	81	67	121	160	125	168	744	16	
5月	男性	88	115	158	324	333	366	502	1,886	35	2,770
	女性	17	93	66	136	177	120	212	821	28	
6月	男性	78	109	177	365	390	360	436	1,915	20	2,829
	女性	16	91	69	168	199	119	217	879	15	
7月	男性	126	96	199	383	360	390	503	2,057	38	3,033
	女性	9	96	79	167	194	132	243	920	18	
8月	男性	128	108	147	341	375	352	474	1,925	25	2,723
	女性	8	81	64	111	175	128	187	754	19	
9月	男性	120	150	197	334	394	365	482	2,042	35	2,950
	女性	9	97	71	148	194	132	197	848	25	
10月	男性	95	138	163	359	384	398	455	1,992	22	2,883
	女性	1	78	81	159	194	121	212	846	23	
11月	男性	59	97	110	272	296	336	363	1,533	17	2,249
	女性	8	56	52	125	162	106	169	678	21	
12月	男性	95	120	114	336	355	354	381	1,755	23	2,449
	女性	6	47	71	104	151	116	167	662	9	
1月	男性	127	162	165	312	330	367	415	1,878	28	2,700
	女性	3	74	83	133	190	104	184	771	23	
2月	男性	125	160	164	343	326	378	418	1,914	30	2,698
	女性	5	73	73	127	164	113	192	747	7	
3月	男性	130	186	182	363	360	421	445	2,087	35	2,990
	女性	11	104	85	119	196	140	192	847	21	
合計	男性	1,276	1,571	1,948	4,031	4,191	4,445	5,262	22,724	338	32,804
	女性	115	971	861	1,618	2,156	1,456	2,340	9,517	225	

令和6年度総合体育文化センター利用率

場所 月	アリーナ	柔道室	剣道室	多目的 ホール	会議室	研修室	開館日数
4月	81%	45%	46%	27%	28%	24%	30 日
5月	77%	42%	50%	41%	24%	17%	31 日
6月	81%	51%	59%	51%	36%	28%	30 日
7月	85%	44%	51%	59%	39%	25%	31 日
8月	85%	28%	58%	46%	40%	30%	31 日
9月	84%	33%	62%	58%	51%	49%	30 日
10月	88%	38%	58%	73%	65%	66%	31 日
11月	86%	53%	70%	74%	67%	56%	30 日
12月	80%	29%	65%	66%	39%	37%	28 日
1月	74%	32%	55%	51%	33%	30%	28 日
2月	88%	35%	60%	51%	38%	32%	28 日
3月	90%	35%	48%	49%	42%	37%	31 日
R6 平均	83%	39%	57%	54%	42%	36%	30 日
R5 平均	80%	48%	60%	53%	43%	38%	30 日
R4 平均	80%	52%	66%	63%	40%	37%	30 日
R3 平均	74%	42%	60%	43%	30%	28%	30 日
R2 平均	65%	39%	50%	39%	23%	18%	25 日
R1 平均	75%	51%	75%	47%	36%	34%	27 日
H30 平均	80%	56%	78%	36%	35%	37%	30 日
H29 平均	82%	64%	86%	55%	41%	36%	30 日
H28 平均	86%	59%	88%	49%	40%	40%	30 日
H27 平均	78%	56%	75%	52%	38%	33%	30 日

令和7年度 岩倉市の教育

令和7年 11 月発行

編集・発行 岩倉市教育委員会

〒482-8686 愛知県岩倉市栄町一丁目 66 番地

TEL (0587)38-5818

FAX (0587)66-6380
